

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

国において、平成12年を「子ども読書年」とすることが衆参両院で決議され、「国際子ども図書館」が開館しました。また、翌平成13年12月には、子どもの読書活動に関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、読書を通して、子どもの健やかな成長に資することを目的とした「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布、施行されました。平成14年8月には、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（平成20年：第二次計画が閣議決定）が策定され、各都道府県は、この計画を基本として「子ども読書活動推進計画」を策定すること、市町村は、国の基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画を基本として、市町村における子どもの読書活動の推進状況等を踏まえて「子ども読書活動推進計画」を策定することと規定されています。

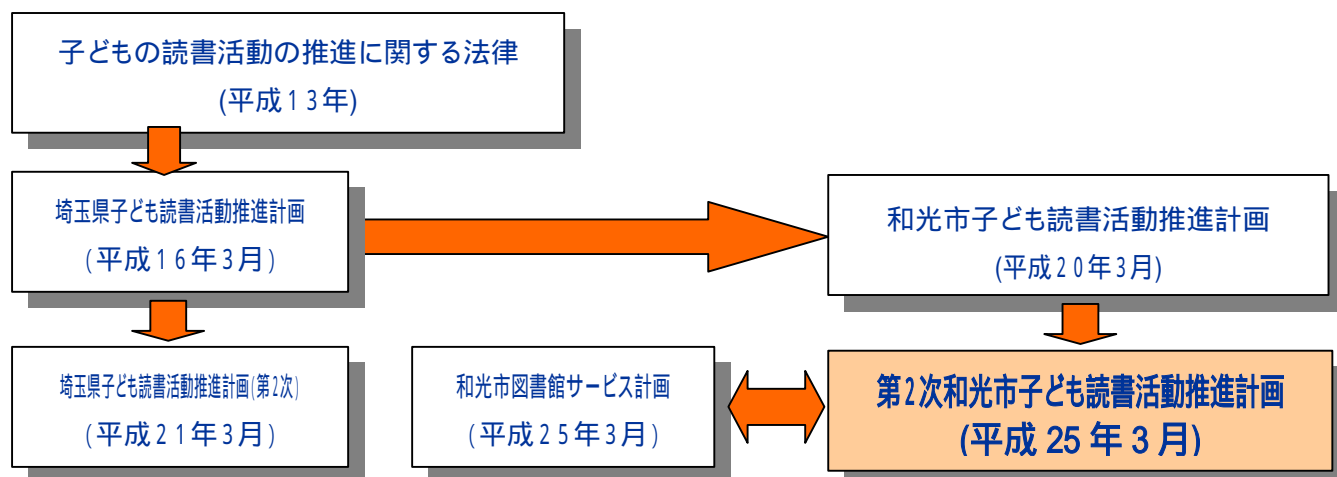
埼玉県においては、平成10年度から「彩の国5つのふれあい県民運動」のなかで、「本とのふれあい」を展開し、子どもの読書活動の意義や重要性について広く普及、啓発を行ってきました。また、平成14年度からは、「彩の国教育改革会議」の提言を踏まえ、「彩の国教育改革アクションプラン」を策定し、豊かな心をはぐくむ教育を推進する重要な柱として、子どもの読書活動の施策の総合的な推進を図るため、平成16年3月に「埼玉県子ども読書活動推進計画」が策定されました。さらには、平成21年3月には「埼玉県子ども読書活動推進計画(第2次)」が策定されました。

本市においては、このような国や県の流れを受け、平成20年3月に策定した「和光市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内各小中学校、保育園等への団体貸出、ボランティアを活用した読み聞かせなどの乳幼児向け事業など、子どもの読書活動の推進を積極的に取り組んできた結果、小規模な図書館でありながら、平成21年11月には「埼玉・教育ふれあい賞」、平成24年4月には子ども読書活動優秀実践図書館として「文部科学大臣表彰」を受けました。

本計画は、前計画の趣旨等を踏襲し、子どもが自主的に読書に向かうことができるように配慮しながら、読書の楽しさ、大切さを伝え、本に出会うための環境を整えることにより、子どもがよりよく生きていく力を育てることを目的とし策定しました。

2 計画の位置付けと期間等

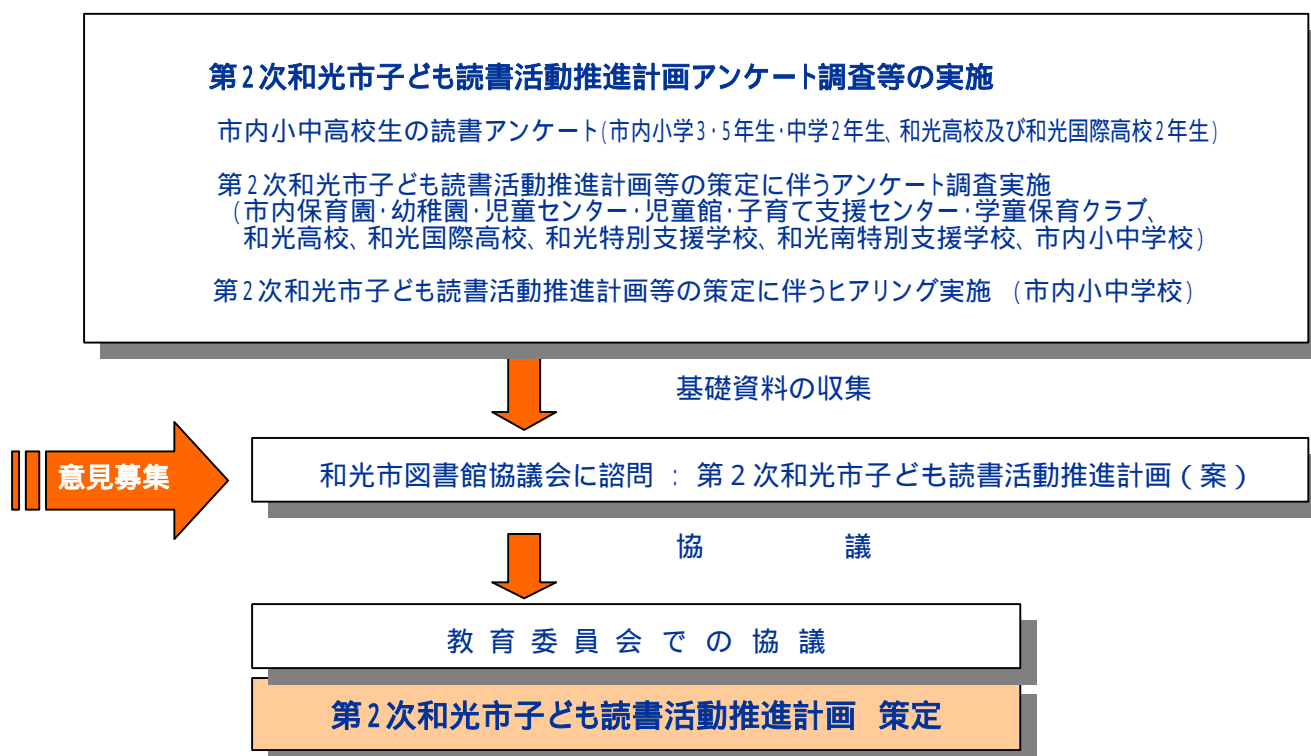
❖ 計画の位置付け



❖ 計画の期間

平成25年度から29年度までの5年間とします。なお、必要に応じて見直しを行います。

❖ 策定までの経緯



3 基本方針

この計画は、次の3本柱をもって読書活動を推進します。

1 環境の整備・充実

子どもが、いつでもどこでも読書ができるよう、図書館及び学校図書館等の施設整備や図書館資料の充実を図ります。

2 連携・協働の推進

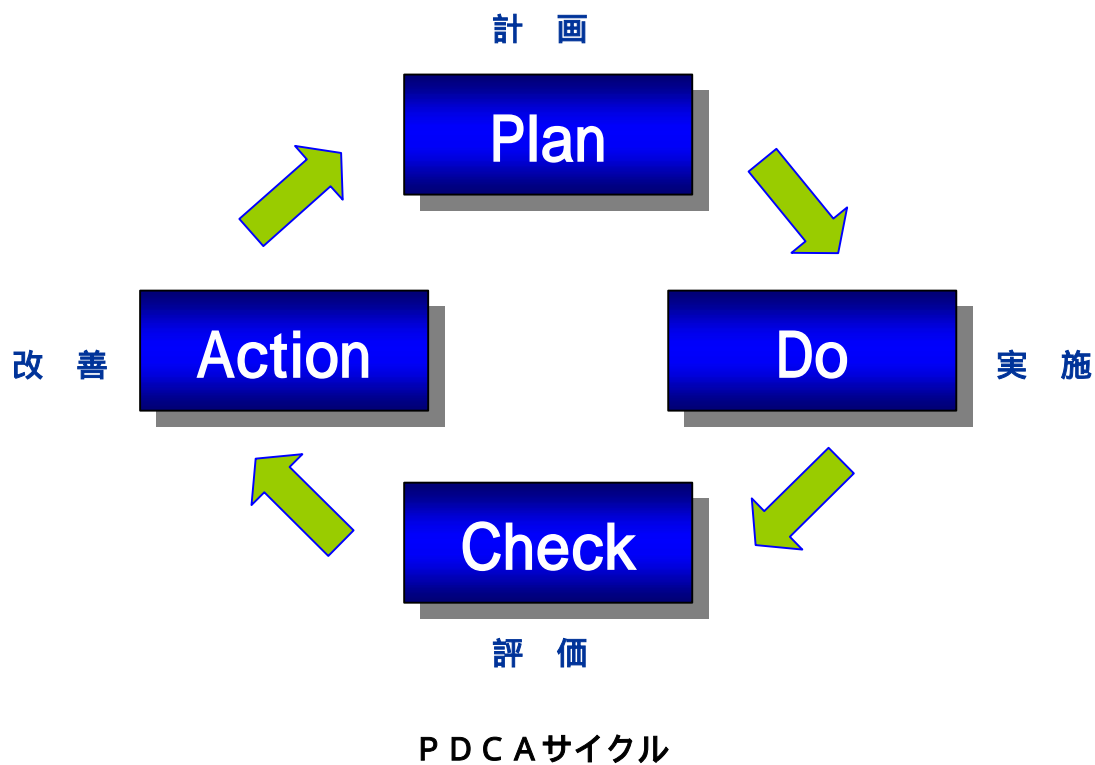
子どもの読書活動を推進するため、家庭、地域、学校、ボランティア等との積極的な連携・協働を推進します。

3 啓発・普及活動の充実

子どもが読書の楽しさや喜びに触れたり、親子がともに読書に親しむ機会を充実させ、その啓発・普及を充実します。

4 計画の実現に向けて

本計画は、「和光市図書館サービス計画」の『基本施策 - 施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実』及び『基本施策 - 施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実』の進捗状況を図書館協議会等で議論し、計画の達成状況を確認していくものとします。



第2章 アンケート調査の結果等

1 「市内小中高校生の読書アンケート」結果(概要)

1 対 象

- (1) 小学3年生、小学5年生(市内の小中学校8校)
- (2) 中学2年生(市内の中中学校3校)
- (3) 高校2年生(市内の県立高校2校:和光高校、和光国際高校)

2 目 的

第2次和光市子ども読書活動推進計画の策定に必要な基礎データを収集するため、和光市内小中学校児童生徒、及び市内高等学校の生徒にアンケートを行う。

3 実施期間

平成24年7月2日から7月18日まで(17日間)

4 回答者数 2,331人

小学3年生 675人、5年生 636人、中学2年生 540人、高校2年生 480人

| | 男 | 女 | 未回答 | 合計 |
|------|-------|-------|------|-------|
| 小学3年 | 349人 | 309人 | 17人 | 675人 |
| 小学5年 | 309人 | 308人 | 19人 | 636人 |
| 中学2年 | 269人 | 251人 | 20人 | 540人 |
| 高校2年 | 158人 | 265人 | 57人 | 480人 |
| 計 | 1085人 | 1133人 | 113人 | 2331人 |

● 読書の好き嫌い

- 全体で見ると、本を読むことが「好き」な児童・生徒は47.6%で、「どちらかといえば好き」(32.9%)を合すると、約8割は読書が好きながわかる。
- 学年別にみると、読書が好きなが児童・生徒の割合は、年齢が高いほど低くなり、高校2年生では「好き」が36.0%、「どちらかといえば好き」が35.8%で、読書が好きなが生徒は約7割にとどまっている。
- 「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合わせた児童・生徒の割合は、小学生では1割未満だが、中学生・高校生では2割を超えている。

◆ 読書をする頻度

- 全体で見ると、本を「よく読む」児童・生徒は、31.8%である。一方、「読まない」(8.7%)と「ほとんど読まない」(15.5%)を合せると、約4人に1人には読書習慣がないことがわかる。
- 学年別にみると、読書習慣がない児童・生徒の割合は、小学校3年生では約1割(10.4%)であるが、年齢が高いほど高くなり、高校2年生では46.3%と半数近くになっている。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、「ほとんど読まない」「読まない」といった割合が高くなっている。

◆ 読書をする理由(2つまで選択)

- 全体で見ると、本を読む理由は、「たのしく、おもしろいから」が73.3%と最も多く、次いで「好きな作家やシリーズがあるから」(38.5%)、「知らないことがわかり、ためになるから」(31.1%)と続いている。

◆ 読んでいる本の種類(2つまで選択)

- 読んでいる本の種類は、各学年とも「小説や物語」が最も多く、全体では66.3%である。次いで、小学3年生を除いて、「趣味やスポーツ」が多くあげられている。
- 学年別にみると、小学校3年生では「絵本」(28.0%)と「図鑑」(24.3%)が他の学年に比べて高い割合であげられている。また、小学校5年生では「伝記(社会の役に立った人のお話)」が21.1%と他の学年に比べて高い割合であげられている。

◆ 読書をしない理由(複数選択)

- 全体で見ると、本を読まない理由は、「ゲームやテレビ、他の遊びの方が楽しいから」が36.2%と最も多く、次いで「習い事や部活など他のことに忙しく、読む時間がないから」(35.6%)、「読みたいと思う本がないから」(35.1%)と続いている。また、「文章を読むことが苦手だから」(28.5%)といった回答も多い。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度と比べ、項目の内容は一致しないが、「習い事や部活など他のことに忙しく、読む時間がないから」が特に高くなっている。また、「文章を読むのが苦手」も高くなっている。

◆ 本を読んでもらった経験の有無

- 全体で見ると、小さいときに本を読んでもらったことが「よくあった」児童・生徒は53.5%、「たまにあった」は25.4%で、合すると約8割は小さいときに本を読んでもらった経験がある。

◆ 本を読んでもらった相手（2つまで選択）

- 本を読んでもらったのは、「父親や母親」が83.3%と最も多く、次いで「幼稚園や保育園の先生」(43.8%)、「家族の人(おじいちゃん・おばあちゃん、兄や姉など)」(30.0%)と続く。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、小さい時「父親や母親」に本を読んでもらったことが多い割合が高く、若干だが「図書館の読み聞かせ」の割合が増えている。

◆ 読みたい本の入手方法（2つまで選択）

- 読みたい本の入手方法は、各学年とも「本屋さんで買う」が最も多く、全体では64.0%である。
- 学年別にみると、「和光市の図書館から借りる」児童・生徒の割合は、年齢が高いほど低く、小学3年生では34.5%だが、高校2年生では2.3%となる。また、「友達から借りる」児童・生徒は、小学生では数パーセントだが、中学生・高校生では2割近くとなっている。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、読みたい本を「本屋さんで買う」割合が高くなっている。

◆ 読む本の選び方

- 全体で見ると、読む本の選び方は、「自分でさがして」が79.4%と最も多く、次いで「流行っている本」(20.5%)、「友だちにすすめられて」(18.4%)と続いている。
- 学年別にみると、「自分でさがして」と回答した児童・生徒の割合は、小学生よりも中学生・高校生のほうが低く、反対に、「友だちにすすめられて」や「流行っている本」は小学生よりも中学生・高校生のほうが高い傾向にある。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、「親にすすめられて」の割合が高くなっている。

◆ 1か月に読んだ本の冊数

- 今年の6月中に読んだ本の冊数は、「1～2冊」が25.3%、「3～6冊」が24.2%で、6冊以内が約半数を占める。一方、「10冊以上」という児童・生徒も23.4%みられる。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、6月中に本を読まなかった中学校2年生の割合は低くなっている（0冊と回答した生徒が少なくなった）。

◆ 図書館・公民館図書室の利用頻度

- 全体でみると、約6割の児童・生徒は、今年の6月中に、和光市図書館、南公民館、図書室、坂下公民館図書室、中央公民館図書室を「利用していない」と回答している。
- 学年別にみると、「利用していない」児童・生徒の割合は、年齢が高いほど高くなり、高校2年生では85.2%が「利用していない」状況である。反対に、「利用した」児童・生徒の割合は、年齢が低いほど高くなり、小学校3年生では16.3%が「（1か月に）4回以上利用した」と回答している。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、図書館を「利用していない」割合が高くなっている。

◆ 図書館・公民館図書室の利用目的（2つまで選択）

- 全体でみると、図書館・公民館図書室の利用目的は、「読みたい本を借りるため」が72.4%と最も多く、次いで「落ち着いて本を読みたいとき」(37.2%)、「宿題などの調べ物をするため」(26.4%)と続いている。なお、「その他」として、中学生・高校生では、「勉強のため」と記入した生徒が多くなっている。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、「落ち着いて本を読む」割合が高く、特に、小学校3年生が高くなっている。

◆ 図書館・公民館図書室を利用しない理由（2つまで選択）

- 全体で見ると、図書館・公民館図書室を利用しない理由は、「行く時間がない」が47.8%と最も多く、次いで「場所がわからない」(20.6%)、「遠くて行けない」(16.7%)、「読みたい本がない」(16.6%)と続いている。
- 学年別にみると、高校2年生では「場所がわからない」と回答した生徒が最も多い。
- 「その他」の具体的な内容としては、小学校3年生では「親が行かせてくれない」という回答は4件みられた。また、高校2年生では、「市内に住んでいない(地元の図書館に行く)」という回答が多数みられた。

< 5年前との比較 >

- 平成24年度は、平成19年度に比べ、図書館に「行く時間がない」割合が高くなっている。

◆ 図書館に希望すること

- 全体で見ると、和光市図書館に希望することに、「面白い本をおいてほしい」(57.1%)が最も高く、次いで、「いつも開いていてほしい」(19.6%)、「調べ物で役立つ本をおいてほしい」(17.2%)が続く。

◆ 小さいときに読み聞かせをしてもらったことがある児童・生徒は、読書が好きか

- 小さいときに本を読んでもらったことが「よくあった」(53.5%)及び「たまにあった」(25.4%)を合わせた約8割の児童・生徒は、読書が「好き」(51.3%)及び「どちらかといえば好き」(33.1%)を合わせると8割を超えている。

2 計画策定に伴うアンケート調査等の結果(市内小中学校等)

1 対象

市内保育園・幼稚園・児童センター・児童館・子育て支援センター・学童保育クラブ・和光高校、和光国際高校、和光特別支援学校、和光南特別支援学校、市内小中学校

2 実施期間

平成24年10月9日から10月26日まで

小中学校については、10月10日から10月18日までヒアリング調査を実施した。

3 概要

| | |
|----------------------|--|
| 保育園 | <p>図書コーナーについては、ほぼすべての園で絵本コーナーを設けており、貸出については行っている園と行っていない園があります。</p> <p>読み聞かせについては、ほとんどの園で日常的に行われ、保育士や、園によっては地域のボランティアを活用しています。また、行事にも読み聞かせが取り入れられています。</p> <p>その他、絵本を題材にした劇遊びを行うなど、絵本に親しんだり、お話に親しむ工夫をしている園もあります。</p> |
| 幼稚園 | <p>図書コーナーについては、すべての園で設けられ、園によっては、2,000冊以上所蔵しています。また、絵本の貸出を行っている園もあります。読み聞かせについては、すべての園で行われ、降園前の時間を利用して行っている園が多くあります。</p> <p>その他、入園前の説明会時に、絵本の大切さを伝えたり、保護者による読み聞かせを実施したりと、積極的に読書活動に取り組んでいる園もあります。また、保護者向けに絵本の大切さを伝える取組をしている園もあります。</p> |
| 小学校 | <p>朝読書については、すべての小学校で実施されています。</p> <p>読み聞かせについては、ほぼすべての小学校で実施されており、保護者ボランティア・地域ボランティア、また、小学校によっては教師や図書館アドバイザーが行っています。回数については週1回から年1回までさまざまですが、朝の時間や休み時間を活用し、小学校全体として取り組まれています。</p> <p>読書関係の取組については、読書月間の取組をしている学校が多く見られ、図書委員会の児童による児童集会での発表等も行われている学校もあります。また、図書だよりはほぼすべての学校で発行していますが、一部の小学校は未発行となっています。さらには、保護者対象に絵本の講座を実施したり、ファミリー読書(家庭読書)運動に取り組んでいる小学校もあります。</p> <p>学校図書館の利用については、ほぼすべての学校が休み時間、昼休みの利用となっているようですが、朝の利用ができる学校もあります。</p> |
| 中学校 | <p>朝読書については、すべての中学校で週5回実施されています。</p> <p>読み聞かせについては、2校が保護者、地域ボランティアの協力により月2~3回実施されています。</p> <p>読書関係の取組については、すべての学校で図書だよりが発行されています。また、教員向けの図書だよりを発行している学校もあります。さらには掲示板を利用したおすすめ本の紹介やテーマ別の本の紹介、ブックトークの実施など読書推進について工夫している学校もあります。</p> <p>学校図書館の活用については、教科の時間、総合的な学習の時間に利用していない学校もありますが、昼休みはすべての学校が利用しています。</p> |
| 高等学校 | <p>朝の読書については、各校で未実施となっています。</p> <p>読書関係の取組としては、図書館だよりの発行や年1回の合同読書会を実施している学校があります。また、国語科の取組として読書ノートを実施している学校もあります。学校図書館については、教科の時間、放課後、昼休み、休み時間に利用されています。</p> |
| 特別支援学校 | <p>和光特別支援学校は、朝の読書を毎日実施しています。また、ほとんどの学級に絵本をおき、おはなし会も実施しています。さらには、学校図書館の利用について、教科の時間は生徒が、放課後は教師が利用し、自立活動や専門部の生徒が利用しています。</p> |
| 学童保育クラブ | <p>読み聞かせについては、定期的に行っているところもありますが、年に数回程度や夏休み期間のみのところが多くなっています。図書コーナーを設置しているのは3箇所、設置していないところは図書館からの団体本を活用しています。読書関係の取組については、季節の行事等に読み聞かせを取り入れているところがあります。</p> |
| 児童センター・児童館・子育て支援センター | <p>読み聞かせについては、各施設とも積極的に行っており、地域のボランティアが担当し、実施しているところもあります。図書コーナーはほぼすべての施設にあり、児童センター・児童館では貸出を行っているところもあります。また、図書コーナーの規模は大きい施設では6,000冊あるところもありますが、図書の少ない施設については図書館の団体本を利用しています。読書関係の取組についても読み聞かせや絵本の紹介などを積極的に行っているところが多いです。</p> |

第3章 前計画の達成状況

平成20年3月の前計画策定以降、図書館では子どもの読書活動を推進するための様々な取組を実施しました。本計画策定に当たり、前計画期間における取組を整理しました。

| | |
|--|--|
| 1 家庭 地域における 取組と 推進 | <p>家庭における取組と推進については、図書館において「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」事業を実施し、乳幼児のいる保護者に対し、赤ちゃんへの言葉かけの大切さを伝え、家庭における読書活動の推進につながるよう働きかけを行ってきました。また、絵本や昔話に関する講座も行い、家庭での読書や、昔話を聞く体験の大切さを伝えてきました。</p> <p>地域の読書環境については、公民館図書室の児童書整備や児童館、子育て支援センターへの団体貸出などを積極的に行ってきましたが、コミュニティセンターや地域文庫などについては働きかけを行うことができませんでした。また、和光市文庫連絡会の解散と、埼玉病院絵本とお話の会の活動については終了したとの報告がありました。</p> |
| 2 保育園 幼稚園における 取組と 推進 | <p>保育園や幼稚園では、図書コーナーの設置や読み聞かせ活動が実施され、比較的順調に読書活動の推進がなされていますが、園によっては、読書関係の取組が実施されていないところがあります。</p> <p>図書館の団体貸出については、ほぼすべての保育園で利用しており、読み聞かせの出前については、図書館を通じたボランティアが保育園4園で定期的に行っているほか、園ごとに地域のボランティアや保護者のボランティアによる読み聞かせも行われています。しかしながら、図書館と保育士との連携については、行うことができませんでした。</p> |
| 3 【 小学校 の取組 】 学校における 取組と 推進 | <p>小学校では、校内一斉読書の推進として「朝読書」がすべての小学校で実施されており、「読書マラソン」「ブックトーク」「夏休み読書会」等、子どもが読書に親しむ機会や場の提供をするために、各校が工夫をこらして実施しているところです。また、図書委員会の活動を活発にし、図書の選定、貸出し業務、図書委員会新聞等の発行の充実を図るなど、各校で取組がされています。</p> <p>各学級が図書館から本を借りることで、学級文庫の充実を図り、本をより身近なものにするよう、充実を図ってきました。しかしながら、児童生徒が、幼稚園や保育園を訪問して、幼児への読み聞かせをするなど、読書活動の体験の幅を広げる活動については実施することができませんでした。「読み聞かせ」活動等の保護者ボランティア活動は、学校応援団等、各校で実施されています。</p> |

ブックトーク：テーマなどを決めて口頭で本を紹介すること。広い意味ではテーマを決めない本の紹介も指す。

① 4 図書館における取組と推進
乳幼児への取組

乳幼児を持つ親子が身近なところでよい絵本に出会い、楽しい時間を過ごせるよう環境を整えたり、わらべうたや絵本を取り入れたあたたかい子育てが行われるよう、親に対する啓発活動を積極的に行ってきました。

平成14年度から戸籍住民課と連携して行っていた、出生届を出された人全員への絵本のプレゼントについては平成23年度に終了しましたが、この事業を始めたことにより、赤ちゃんを育てる人に一度は絵本の大切さや与え方、図書館や関連施設を紹介できるようになりました。

良質の乳幼児向け絵本、紙芝居等の収集・提供・保存を行い、絵本コーナー、児童コーナー、子育て支援コーナーの充実を図ってきた結果、児童書の蔵書割合は県内自治体で2番目に高い状況となっています。

読み聞かせの保育園訪問や、絵本とおはなしの会等をとおしての乳幼児と本をつなぐ取組、また「布の絵本」の提供については、図書館ボランティアの協力を得て充実が図られました。

平成21年度には、保健センターにおいて乳幼児健診時に行う絵本とのふれあい事業については終了しましたが、年齢別おすすめブックリストを作成し(0・1才、2・3才用の2種類)乳幼児健診時に配布してもらっています。また、わらべうた講座についても終了しましたが、その後、図書館においてボランティア団体「あゆみの会」により、「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」事業を開始し、年24回開催しました。(平成22年度1月から1日2回開催)

保育園、子育て支援センターへの団体貸出(50冊~100冊)については、前期後期の2期制に変更し、取り組んできました。また、子ども読書の日(4/23)のおすすめの本など、乳幼児から小学生(場合によっては中学生)までのおすすめ本リストを年3回作成しています。

| | |
|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">② 小学生への取組</p> | <p>良質の児童書等の収集・提供・保存を行ってきた結果、児童書の蔵書割合は県内自治体で2番目に高い状況となっています。小学生向け事業として、子どものための読書会（講師市内小学校教諭）を年4回開催、子どもの科学（外部講師）を年2～3回開催しました。図書館クラブ（外部講師）については、小学生向けのブックトークや工作を実施してきましたが、平成23年度に終了しました。</p> <p>本を使った調べ学習資料の貸出は、各学校に制度が浸透し、利用が増えており、総合的な学習の時間等調べ学習に対応できるよう、適切な資料を複数揃え整備をしてきました。</p> <p>市内施設めぐりによる図書館の紹介や学校訪問は、学校からの依頼により取り組んできました。また、学校向け図書館だよりの発行については、各行事実施時のチラシ配布に変更して取り組んできました。</p> <p>子ども専用ホームページの開設については、図書館システムの中に子ども向け蔵書検索ソフトを導入しました。</p> <p>各学級、保育クラブに対して、前期後期の2期制に変更し団体貸出を行ってきました。また司書教諭、<u>図書館アドバイザー</u>との連携を積極的に図り、テーマ本貸出、学校訪問などにも取り組んできました。</p> <p>定期的な子どもの本のテーマ展示を、子ども読書の日をはじめ季節にちなんだ内容で毎月実施してきました。障害のある子どもの読書活動の推進として、和光特別支援学校での読み聞かせや小中学校特別支援学級への団体貸出、布絵本の貸出、見学の受入れ等を実施してきました。</p> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 中学生 高校生への取組</p> | <p style="text-align: center;">中学生への取組</p> <p>中学生への取組については、各中学校に対し団体貸出を実施し、各学級に50冊から100冊の本の貸出に取り組んできました。また、本を使った調べ学習の資料の貸出は、各学校からの依頼に応じ行ってきました。</p> <p>平成24年度からは、ティーン向け雑誌を2誌購入し、また、興味をひくようなテーマでの本の展示をするなど、中学生の興味に沿った魅力的な図書・雑誌の収集・提供・保存をし充実を図ってきました。</p> <p>職場体験実習については、市内3中学校の生徒を受入れ、図書館に親しむ機会を提供することができましたが、中学生向け講座の開催など、中学生対象の事業を実施することができませんでした。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">高校生への取組</p> <p>高校生への取組については、<u>ヤングアダルトコーナー</u>の充実として利用者のニーズを視野にいたした選書、資料の収集を行ってきましたが、高校生向けの講座については実施することが出来ませんでした。</p> <p>平成24年度には、和光高校の社会体験学習の受入れを初めて行いました。また、本計画策定に当たり、和光高校、和光国際高校の2年生を対象にしたアンケート調査と各学校への読書活動に関するアンケート調査をはじめに行いました。</p> |

図書館アドバイザー：市内小中学校に1人配置されている非常勤職員。司書教諭を補佐する。

ヤングアダルトコーナー：おおむね13才から18才向けの本を置いたコーナー

第4章 アンケート調査、ヒアリング結果及び前計画の達成状況から読み取れる特徴と課題

1 「読書をしている（好き）子ども」と「読書をしていない（嫌い）子ども」の差がある

アンケート調査の結果では、小さいときに本を読んでもらった児童・生徒の9割近くが、本を読むことが好きといった結果が出ています。しかしながら、約4人に1人は読書習慣がない結果も出ています。また、5年前のアンケート結果と比較して、「読まない」、「ほとんど読まない」といった割合が高くなっています。図書館を利用しない理由としては、「図書館の場所がわからない」、「図書館が遠い」という回答が多くなっています。

このことから、身近な場所で本に親しめるよう、家庭や地域文庫への働きかけやコミュニティセンター、公民館等の施設を活用するなど、本のある場所を広げる必要があります。

2 保育園・幼稚園・学校等との連携が不足している

保育園、幼稚園、小中学校のアンケート調査の結果等ではおおむね読書活動の取組が行われていましたが、同様の施設でありながら、読書活動の取組が未実施や取組が少ない施設もあります。また、図書館では、団体貸出やテーマ本の貸出、また、図書館ボランティアによる出前の読み聞かせ活動などを実施してきましたが、図書館と学校図書館とのさらなる連携を求める意見があります。

このことから、図書館が、保育園、幼稚園、小中学校等での読書関係の取組がさらに充実するよう働きかけを行い、図書館と各施設との連携を強化する必要があります。

3 中高生を対象とした取組が少ない

読書アンケート調査の結果では、中高生になるにつれて、「読書習慣がない」割合が増えるという結果が出ています。前計画の期間中には、中高生向けの講座など開催できませんでした。

このことから、中高生向けの講座を実施し、中高生の読書活動を推進する必要があります。

第5章 計画の内容と推進のための施策

1 家庭・地域における読書の推進

■ 現 状

家庭における読み聞かせや地域での読み聞かせ体験は、子どものその後の読書活動に大きな影響を与えるといえます。特に、家庭においては、赤ちゃんのときから、ことばかけや声かけをし、わらべうたをうたってあげたり、絵本を読み聞かせてあげることが、子どもの読書活動の第一歩につながります。

前計画に基づき、図書館をはじめ、市役所関係各課や地域などにおいて子どもの身近に本がある環境を提供したり、保護者自身が読書を楽しむ姿を子どもに見せることにより、子どもの読書活動が進んできました。

地域の読書環境については、市内公共施設（公民館図書室、コミュニティセンター、児童センター、子育て支援センター、保育園、学童保育クラブ）において本を設置するなど本と出会える場を提供しています。

■ 課 題

家庭においては、保護者が子どもが本に親しむ機会を作ったり、子どもと一緒に読書を楽しみ、子どもの読書活動に積極的に関わることが求められています。

地域においては、地域全体で子どもの読書活動を支援するために、読み聞かせボランティアの養成や市役所関係各課、市内公共施設などとの連携による取組が必要です。また、一部の地域文庫の活動が終了していることもあることから、地域における読書活動の体制を整備する必要があります。

■ 取組内容

1 家庭における読書活動の推進



家庭において本に親しむことができるよう、推薦図書などの啓発や子育て支援のための情報提供、乳幼児の保護者また妊産婦に対する啓発を行います。

図書館においておすすめ本のブックリストなどを作成し、読書の大切さを啓発するとともに、市役所関係各課と連携し、絵本をとおして親子が触れ合える環境や、子どもの身近に本がある環境を作り、家庭における読書活動の推進に努めます。

2 地域における読書活動の推進

地域での読書活動を推進するため、読み聞かせボランティアの養成講座などを実施するとともに、地域における文庫との連携も図っていきます。さらには、児童センターや子育て支援センター等と連携し、市内公共施設を地域の小さな図書館として充実させ、子どもが本とが出会える場所を提供します。

■ 取組年度

| 取組内容 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----------------|--|-----|-----|-----|-----|
| 1 家庭における読書活動の推進 |  | | | | |
| 2 地域における読書活動の推進 |  | | | | |

2 保育園・幼稚園における読書の推進

■ 現 状

各保育園、幼稚園では図書コーナーを設置し、子どもの身近なところに本がある環境を作っています。また、一部の園では、子どもや保護者へ本の貸出しも行っており、保育士、幼稚園教諭、ボランティアなどによる読み聞かせ活動も行っています。

保育園においては、図書館からの団体貸出により、幅広い本に触れる機会を提供しています。

■ 課 題

平成24年10月に各保育園、幼稚園などに実施したアンケート調査の結果では、図書コーナーの規模は園によって差があり、図書の貸出を行っていない園もあります。図書コーナーについては、所蔵している図書の充実を図るため、発達段階に応じた図書の充実や、図書館のリサイクル図書を活用し、充実を図る必要があります。

図書館ボランティアによる読み聞かせの出前を利用している園は一部にとどまっていることから、さらなる活用が求められています。また、子どもの一番身近にいる保育士、幼稚園教諭などの読み聞かせに関する研修等を行う必要があります。

■ 幼稚園・保育園一覧

| | | | | | |
|-------------|-------|-----------------|-------------------|--------|--------------------|
| 幼 稚 園 | 新倉 | 下新倉 2 - 4 5 - 5 | 保 育 園 | みなみ | 南 2 - 3 - 3 |
| | 大和すみれ | 南 1 - 2 - 1 | | しらこ | 白子 3 - 2 9 - 1 0 |
| | やまと | 白子 3 - 1 2 - 1 | | ひろさわ | 広沢 1 - 2 |
| | 小羊 | 本町 1 5 - 1 6 | | にいくら | 新倉 1 - 3 6 - 2 |
| | | | | ほんちょう | 本町 3 1 - 1 8 |
| | | | | しもにいくら | 下新倉 1 - 2 - 2 5 |
| | | | | キッズエイド | 本町 3 1 - 6 C Iハイツ内 |
| | | | | 和光駅前 | 新倉 1 - 2 - 6 7 2階 |
| | | | | 下新倉みどり | 下新倉 5 - 1 3 - 1 0 |
| | | | | ハレルヤ | 新倉 5 - 9 - 9 2 |
| | | | | ゆめの木 | 白子 2 - 1 4 - 6 2 |
| | | | | あすの木 | 丸山台 3 - 5 - 8 |
| | | 里仁育舎 | 下新倉 2 - 3 4 - 3 6 | | |

■ 取組内容

1 図書コーナーの充実

図書館の団体貸出や図書館リサイクル本の活用も含め、各園の図書コーナーをさらに充実し、発達段階に応じた図書を揃えていきます。

2 各園における読み聞かせ活動の充実

図書館職員や図書館ボランティアによる読み聞かせの出前を活用しながら、各園における読み聞かせ活動の充実を図ります。

3 図書館との連携

図書館で行われる絵本やわらべうた、読み聞かせに関する講座等への参加や園児の図書館訪問を実施するなど、図書館との連携を図ります。

■ 取組年度

| 取組内容 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 図書コーナーの充実 | | | | | |
| 2 各園における読み聞かせ活動の充実 | | | | | |
| 3 図書館との連携 | | | | | |

3 小学校・中学校における読書の推進

■ 現 状

学校においては、朝読書や読み聞かせの活動など、司書教諭や図書館アドバイザーが中心となり、児童・生徒を対象とした読書に関する取組が行われています。また、各教科の授業の中で、調べ学習など学校図書館や図書館を利用した活動も行われています。

■ 課 題

学校においては、司書教諭、図書館アドバイザーの連携により、よりいっそう充実した読書活動が求められています。

平成24年10月に実施した「小中学校図書館担当者とのヒアリング」では、読書活動への取組が各学校で差がみられることから、学校での読み聞かせやブックトーク等を実施されるよう積極的に行う必要があります。また、司書教諭、図書館アドバイザーの連携により、学校全体での読書活動の推進を組織的に取り組むことも求められています。

前計画に掲載されている学校における取組の中で、児童・生徒が保育園や幼稚園で読み聞かせをする活動の実施が求められています。

< 学校図書館の役割 >

学校図書館が、「読書センター」としての機能と「学習情報センター」としての機能を果たすために役立つ資料を収集します。

また児童・生徒が読書に親しむ心を養い、読書習慣を身につけることができるよう、学校全体で読書活動の推進に取り組みます。

■ 取組内容

1 校内一斉読書の推進

朝の全校読書タイム、休み時間等、児童・生徒の読書活動の充実を図ります。

2 子どもが読書に親しむ機会や場の提供

- (1) 「読書マラソン」・「ブックトーク」・「アニメーション」・「夏休み読書会」など、子どもが読書に親しむ機会や場の提供を行います。
- (2) 本を身近なものにするため、図書館から各学級が借りている本（団体貸出など）も含めて、学級文庫の充実を図ります。
- (3) 国語、理科、社会、総合的な学習の時間等を通して、推薦図書のブックリストの紹介をします。
- (4) 優秀な感想文や意欲的に読書に取り組んだ児童生徒を表彰し、子どもの努力を認める活動を広げます。
- (5) 児童・生徒が幼稚園や保育園を訪問して、幼児への読み聞かせをするなど、読書活動の体験を広げていきます。

3 図書委員会の活動の充実

図書の選定、貸出業務、POP作りや図書委員のおすすめ本紹介、新聞等を発行し、図書委員会活動の充実を図ります。

4 保護者への読書啓発活動の実施

「読み聞かせ」活動等の保護者ボランティア活動の奨励を行います。また、読書のすすめのわかりやすいリーフレット等を作成、配布し、保護者への読書啓発活動を実施します。

■ 取組年度

| 取組内容 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 校内一斉読書の推進 | | | | | |
| 2 子どもが読書に親しむ機会や場の提供 | | | | | |
| 3 図書委員会の活動の充実 | | | | | |
| 4 保護者への読書啓発活動の実施 | | | | | |

アニメーション：クイズなどを取り入れたり、楽しく遊びながら、子どもを本の世界に引き入れる手法。

4 図書館における読書の推進

(1) 乳幼児へのサービスの充実

■ 現 状

乳幼児への取組については、館内に設置した「はじめてであう絵本コーナー」を中心に、良質の乳幼児向け絵本の収集・保存に取り組んでいます。また、布の絵本についてもボランティアの協力により、所蔵点数が着実に増えています。さらには、ボランティアの協力による「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」(6ヶ月～2歳児対象)、「絵本とおはなしの会」(2、3歳児以上対象) ボランティアによる保育園での読み聞かせを行い、親子のふれあいや言葉かけの大切さなどを伝えています。

平成22年度には「あかちゃんの駅」の指定機関となり、また、平成23年度には絵本コーナーにたたみを設置するなど、親子で気軽に図書館に来館できるよう、子育て支援に取り組んでいます。

■ 課 題

平成19年度に実施した小中学生を対象とした「読書アンケート」と平成24年度に実施した読書のアンケートの結果を比較すると、「小さいときに本を読んでもらった」と回答した割合は高くなっており、家庭での読み聞かせが浸透してきたといえます。その一方で、「読書習慣がない」と回答した生徒の割合は5年前より増加している結果が出ています。

子育て世代の利用については、年々増加しており、今後はさらなる子育て支援のための情報提供を行う必要があります。また、保護者からの読書相談に応じたり、年齢別ブックリストの作成についても進める必要があります。乳幼児への読書の推進に当たっては、子育て支援の視点を持って地域全体で取り組むことについて、市役所関係各課に働きかけることが必要です。

■ 取組内容

1 良質な乳幼児向け図書等の収集、保存

「はじめてであう絵本コーナー」の充実を中心に、絵本、紙芝居等、良質な乳幼児向け図書等を計画的に収集、保存します。

2 乳幼児向け事業等の充実

「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」、「絵本とおはなしの会」などの事業を実施するとともに、キッズルームを設置するなど、乳幼児の読書活動を推進します。また、保育園・幼稚園の図書館見学の受入れ、子ども読書の日や読書週間に合わせた読書活動に関する講座等の開催、季節にあったテーマやおすすめの本の展示を計画的に行うとともに年齢別おすすめブックリストを作成します。さらには、親子が本を通して触れ合う機会を持ってもらうことを目的に、ブックスタート事業を実施します。

3 市内各公共施設への団体貸出等の充実

市内各公共施設（子育て支援センター、児童館等）への団体貸出等の充実を図ります。

4 家庭・地域における取組への支援

家庭において本に親しむことができるよう、推薦図書などの啓発や子育て支援のための情報提供、乳幼児の保護者また妊産婦に対する啓発を行います。さらには、地域の身近な施設においても本に親しむことが出来るよう、児童センター、子育て支援センターなどの活用や連携を行います。さらには、地域での読書活動を推進するため、読み聞かせボランティアの養成講座なども実施します。

5 保育園・幼稚園における取組への支援

保育園・幼稚園での読み聞かせ活動推進のため、図書館職員や図書館ボランティアによる読み聞かせの出前を実施するとともに保育士や幼稚園教諭などが参加できる絵本に関する講座などを行います。

■ 取組年度

| 取組内容 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 良質な乳幼児向け図書等の収集、保存 | | | | | |
| 2 乳幼児向け事業等の充実 | 実施 | | | | |
| 3 市内各公共施設への団体貸出等の充実 | | | | | |
| 4 家庭・地域における取組への支援 | | | | | |
| 5 保育園・幼稚園における取組への支援 | | | | | |

4 図書館における読書の推進

(2) 小学生へのサービスの充実

■ 現 状

小学生への取組については団体貸出用図書も含めた児童向け資料の収集、保存を行うとともに、子どものための読書会、子どもの科学、世界おはなしめぐりなど、様々な小学生対象事業を実施しています。

平成16年3月には、図書館と学校図書館をオンライン化するなど市内小中学校との連携も図り、児童の読書活動の推進に努めています。

平成20年3月には「和光市子ども読書活動推進計画」を策定し、市内各小中学校や子育て支援センター等への団体貸出の実施、また、講座などを開催し子どもの読書活動の支援を進めた結果、和光市図書館が平成21年11月には「埼玉・教育ふれあい賞」、平成24年4月には子どもの読書活動優秀実践図書館として「文部科学大臣表彰」を受けています。

■ 課 題

前計画においては、調べ学習及び調べ方をつたえる講座の実施を記載していましたが実施できなかったため、今後は実施に向けて取り組む必要があります。

平成24年6月に実施した「小中高校生の読書アンケート」の結果では、読書習慣がない児童・生徒の割合は小学3年生では約1割となっていますが、小学5年生になると約2割となっており、年齢が上がるにつれ、読書習慣がない割合が高くなるといった結果が出ています。また、平成24年10月に実施した「市内小中学校図書館担当とのヒアリング」の結果では、各小中学校とのさらなる連携・支援が求められています。

その他、ブックトークや読み聞かせといった学校訪問についても、さらに多くの学校で実施できるよう積極的に働きかけをしていく必要があります。また、図書館システムを活用し、学校図書館と図書館との物流、学校図書館間の物流を実施するなど、児童の読書ニーズに応えることが求められています。

■ 取組内容

1 良質な児童向け図書等の収集・保存

絵本、児童図書、紙芝居、雑誌など、良質で多様な資料の収集・保存に努めます。

2 市内各公共施設への団体貸出等の充実

市内各公共施設（学童保育クラブ、児童館等）への団体貸出の充実を図ります。

3 子ども向け事業の充実

読書会やおはなし会、科学講座、工作教室など幅広い事業に取り組み、小学生の読書活動の推進をします。また、夏休み宿題教室の開催や図書館見学の受入れ、調べ学習や本の探し方を支援する取組を実施します。さらには、子ども読書の日や読書週間に合わせ、読書活動に関する講座や企画等を開催します。

市内各公共施設と連携し、読み聞かせ活動やブックトーク等を実施します。

4 テーマ展示及びブックリストの充実

季節にあったテーマやおすすめの本の展示を計画的に行うとともに、ブックリストを作成します。

5 子ども専用ホームページの充実

子ども向けホームページを充実し、読書活動を推進します。

6 障害のある子どもたちへのサービスの充実

小学校の特別支援学級への団体貸出、布の絵本の貸出、障害の状態に応じた選書を行います。また、和光特別支援学校、和光南特別支援学校と連携し、見学の受入れや図書館職員、図書館ボランティアによる読み聞かせ訪問等を実施します。

7 学校における取組への支援

市内小学校での読書活動推進のため、団体貸出、授業や修学旅行の際に活用するテーマ別の本の貸出、読み聞かせ、ブックトークの出前、市内施設めぐりによる図書館の紹介、学校向け図書館だよりの発行などを行います。また、司書教諭、図書館アドバイザー、学校応援団との連携を積極的に図り、学校図書館活動への支援として本の選書に関するアドバイスや本の登録、蔵書点検に関するサポート等を行います。さらには、読み聞かせボランティア養成講座の開催や、ボランティア同士の情報交換の場を設けるなど、学校での読み聞かせ活動を支援します。

■ 取組年度

| 取組内容 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 良質な児童向け図書等の収集・保存 | | | | | |
| 2 市内各公共施設への団体貸出等の充実 | | | | | |
| 3 子ども向け事業等の充実 | | | | | |
| 4 テーマ展示及びブックリストの充実 | | | | | |
| 5 子ども専用ホームページの充実 | | | | | |
| 6 障害のある子どもたちへのサービスの充実 | | | | | |
| 7 学校における取組への支援 | | | | | |

4 図書館における読書の推進

(3) 中学生・高校生へのサービスの充実

■ 現 状

平成20年3月に策定した「和光市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内各中学校へ団体貸出を行っているほか、図書館内にヤングアダルト(YA)コーナーを設置し、中高生の読書活動の支援をしています。

また、市内中学生の職場体験学習の受入れを行い、平成24年度からは和光高校の社会体験活動の受入れも行っています。

■ 課 題

平成20年3月に策定した「和光市子ども読書活動推進計画」では、高校生への取組を掲載していますが、図書館内にヤングアダルト(YA)コーナーを設置した以外は具体的な取組を行っていません。

平成24年6月に実施した「市内小中高校生の読書アンケート」の結果では、小中学生よりも読書習慣がない割合が高いといった結果が出ています。

図書館協議会等においては、質の高い漫画の導入を求める意見や図書館が中高生の居場所づくりを進める必要があるといった意見があります。

ヤングアダルト(YA)コーナー：おおむね13才から18才向けの本を置いたコーナー

■ 取組内容

1 ヤングアダルトコーナー等の充実

ヤングアダルト本の充実をはじめ、ティーンズ主体の新聞発行や館内において中高生が感じることを自由に書き込むことが出来るティーンズノート・伝言板の設置を検討します。また、職業・受験対策関連分野の強化、知的好奇心の刺激や学校生活に役立つ資料など文学以外の分野も充実します。さらには、ソーシャルネットワーキングサービスを活用し、図書館サービス等の情報提供に努めます。

2 中高生向け講座の実施

学校等と連携し、図書への関心や興味を引き出すための講座、ブックトークや中高生参加型のパフォーマンス（演劇、芸術、音楽等）の実施を検討します。

3 漫画の導入の検討

読書へのきっかけづくりとして、歴史に関する漫画など、質の良い漫画の導入について検討します。

4 学校における取組への支援

学校図書館と連携し、調べ学習など学校教育を支援するための団体貸出を充実するとともに、職場体験や社会体験活動の受け入れを積極的に行います。また、学校における宿題やレポート内容に関連する資料の提供をします。

■ 取組年度

| 取組内容 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 ヤングアダルトコーナー等の充実 | | | | | |
| 2 中高生向け講座の実施 | 検討 | 実施 | | | |
| 3 漫画の導入の検討 | 検討 | 実施 | | | |
| 4 学校における取組への支援 | | | | | |

ソーシャルネットワーキングサービス：インターネットを使って、特定の関心をもつ人同士が出会うチャンスをつくり、情報交換ができるようにするサービスの総称。略称 SNS。[日本大百科全書(小学館)]

資料編

1 計画策定の経緯

◆ 平成24年

| | |
|---------------|---|
| 7月 2日～ 7月18日 | 「市内小中高校生の読書アンケート」調査 (回答者数2,331人) |
| 9月21日 | 第1回 和光市図書館協議会 |
| 10月9日～ 10月26日 | 計画の策定に伴うアンケート調査 (市内保育園・幼稚園・児童センター・児童館・ 子育て支援センター・学童保育クラブ・和光高校・ 和光国際高校・和光特別支援学校・和光南特別支援 学校・市内小中学校) |
| 10月10日～10月18日 | 第2次和光市子ども読書活動推進計画の策定に伴うヒ アリング(市内小中学校) |
| 11月28日 | 第2回 和光市図書館協議会 |

◆ 平成25年

| | |
|--------------|---------------|
| 2月13日 | 第3回 和光市図書館協議会 |
| 2月21日 | 定例教育委員会 |
| 2月27日～ 3月18日 | パブリック・コメント |
| 3月25日 | 第4回 和光市図書館協議会 |
| 3月28日 | 定例教育委員会 |

2 図書館協議会委員名簿

| 氏 名 | 選 任 の 区 分 | |
|---------|-----------|-----------|
| 曾根田 由貴子 | 学校教育の関係者 | 市内小中学校長会 |
| 山 形 克 己 | 社会教育の関係者 | 社会教育委員 |
| 川 崎 勢津子 | | 公民館運営審議会 |
| 尾 崎 京 子 | | 和光絵本とお話の会 |
| 坂 本 真 人 | 公募による市民 | 公募による市民 |
| 皆 川 美恵子 | 学識経験のある者 | 十文字学園女子大学 |
| 泉 峰 子 | | 国立保健医療科学院 |

3 「市内小中高校生の読書アンケート」の結果

1 対 象

- (1) 小学3年生、小学5年生（市内の小学校8校）
- (2) 中学2年生（市内の中学校3校）
- (3) 高校2年生（市内の県立高校2校：和光高校、和光国際高校）

2 目 的

第2次和光市子ども読書活動推進計画の策定に必要な基礎データを収集するため、和光市内小中学校児童生徒及び市内高等学校の生徒にアンケートを行う。

3 実施期間

平成24年7月2日から7月18日まで（17日間）

4 回答者数 2,331人

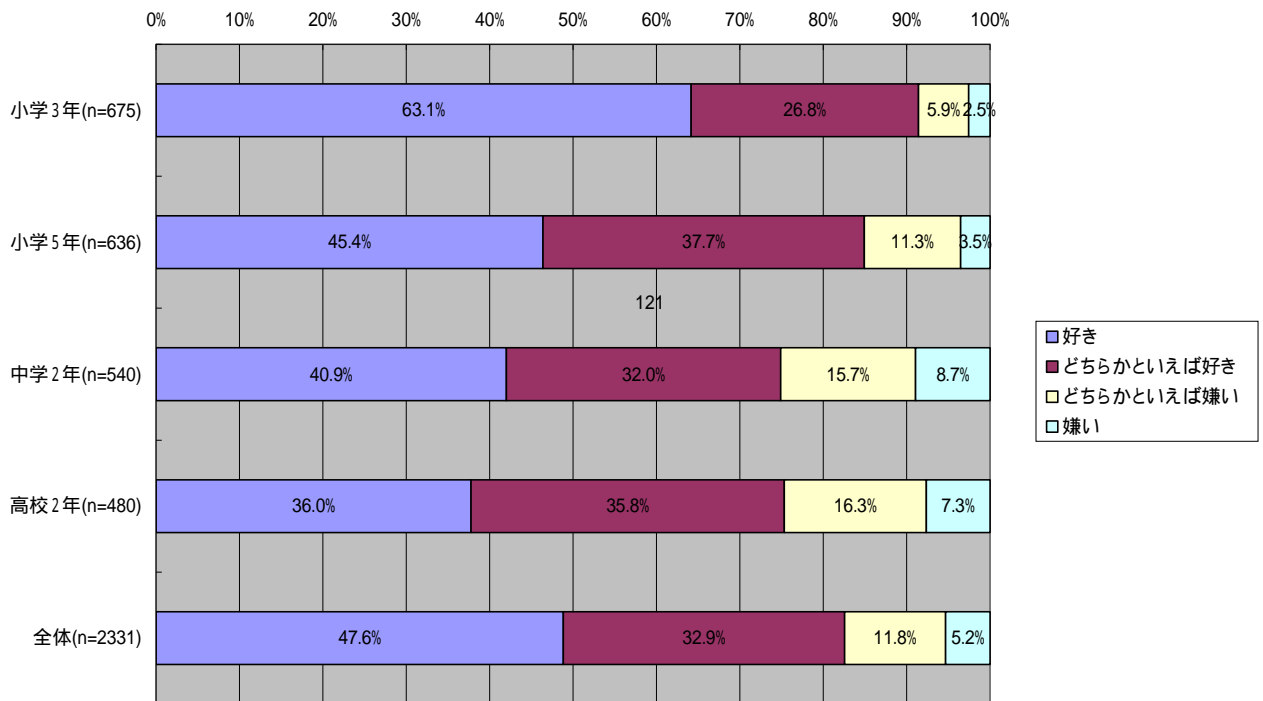
小学3年生 675人、5年生 636人、中学2年生 540人、高校2年生 480人

| | 男 | 女 | 未回答 | 合計 |
|------|-------|-------|------|-------|
| 小学3年 | 349人 | 309人 | 17人 | 675人 |
| 小学5年 | 309人 | 308人 | 19人 | 636人 |
| 中学2年 | 269人 | 251人 | 20人 | 540人 |
| 高校2年 | 158人 | 265人 | 57人 | 480人 |
| 計 | 1085人 | 1133人 | 113人 | 2331人 |

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。

- ・ 全体でみると、本を読むことが「好き」な児童・生徒は47.6%で、「どちらかといえば好き」(32.9%)を合すると、約8割は読書が好きなことがわかる。
- ・ 学年別にみると、読書が好きな児童・生徒の割合は、年齢が高いほど低くなり、高校2年生では「好き」が36.0%、「どちらかといえば好き」が35.8%で、読書が好きな生徒は約7割にとどまっている。
- ・ 「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合わせた児童・生徒の割合は、小学生では1割未満だが、中学生・高校生では2割を超えている。

問1 本の好き嫌い

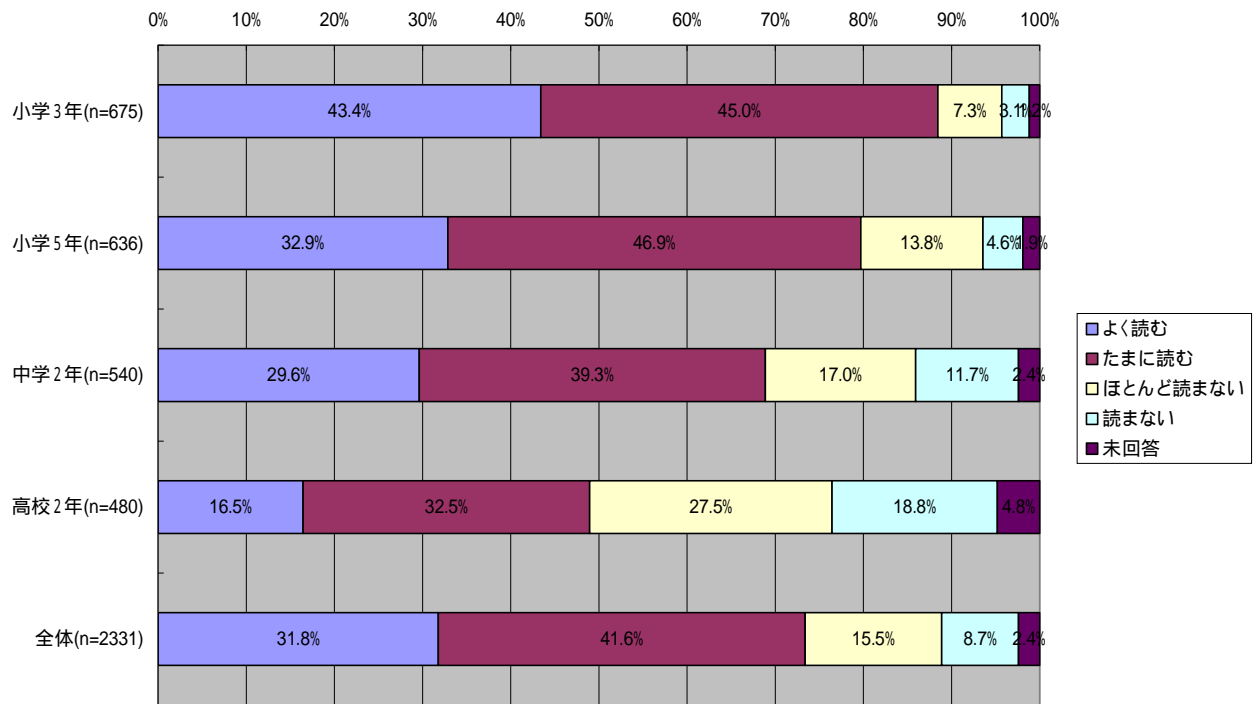


| | ア | イ | ウ | エ | 未回答 | 合計 | |
|------|-------|----------------|----------------|------|------|--------|----------|
| | 好き | どちらかとい えば好き | どちらかとい えば嫌い | 嫌い | | | |
| 小学3年 | 426人 | 181人 | 40人 | 17人 | 11人 | 675人 | (n=675) |
| 割合 | 63.1% | 26.8% | 5.9% | 2.5% | 1.6% | 100.0% | |
| 小学5年 | 289人 | 240人 | 72人 | 22人 | 13人 | 636人 | (n=636) |
| 割合 | 45.4% | 37.7% | 11.3% | 3.5% | 2.0% | 100.0% | |
| 中学2年 | 221人 | 173人 | 85人 | 47人 | 14人 | 540人 | (n=540) |
| 割合 | 40.9% | 32.0% | 15.7% | 8.7% | 2.6% | 100.0% | |
| 高校2年 | 173人 | 172人 | 78人 | 35人 | 22人 | 480人 | (n=480) |
| 割合 | 36.0% | 35.8% | 16.3% | 7.3% | 4.6% | 100.0% | |
| 全体 | 1109人 | 766人 | 275人 | 121人 | 60人 | 2331人 | (n=2331) |
| 割合 | 47.6% | 32.9% | 11.8% | 5.2% | 2.6% | 100.0% | |

問2 あなたは、本をよく読むほうですか。(まんが、雑誌をのぞく)

- ・ 全体で見ると、本を「よく読む」児童・生徒は、31.8%である。一方、「読まない」(8.7%)と「ほとんど読まない」(15.5%)を合すると、約4人に1人には読書習慣がないことがわかる。
- ・ 学年別にみると、読書習慣がない児童・生徒の割合は、小学校3年生では約1割(10.4%)であるが、年齢が高いほど高くなり、高校2年生では46.3%と半数近くになっている。

問2 本をよく読むかどうか

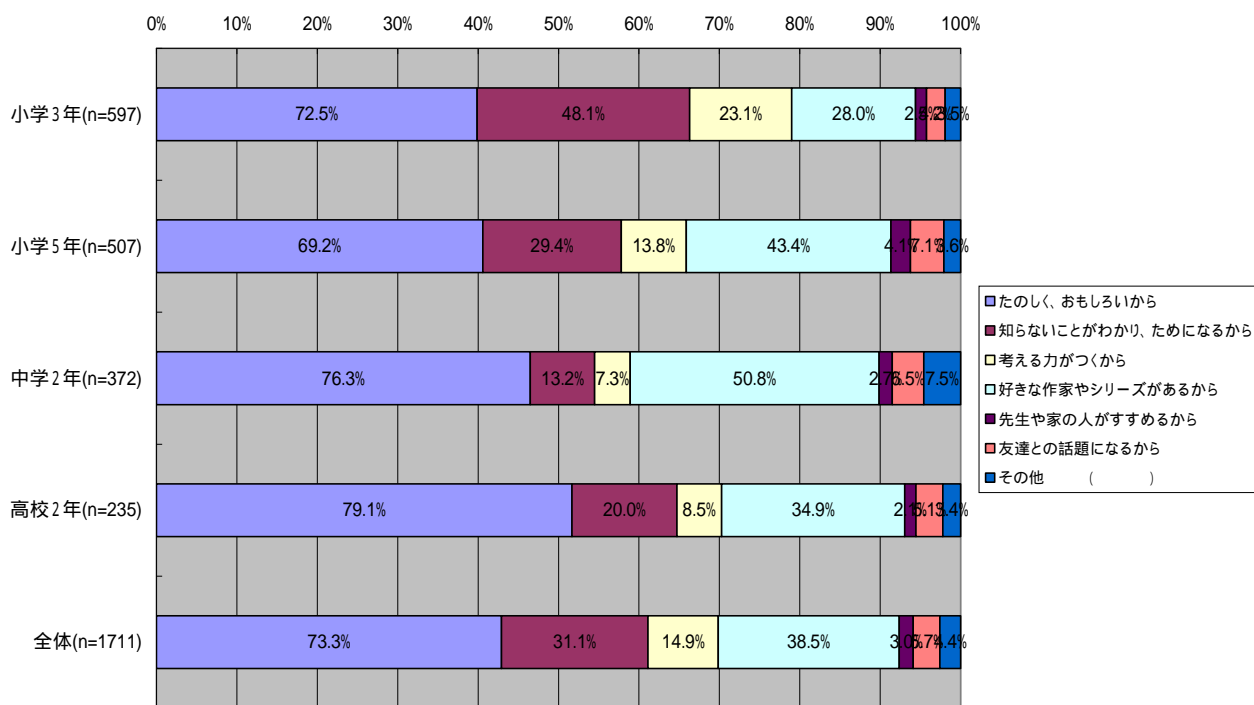


| | ア | | | | 未回答 | 合計 | |
|------|-------|-------|----------|-------|------|--------|----------|
| | よく読む | たまに読む | ほとんど読まない | 読まない | | | |
| 小学3年 | 293人 | 304人 | 49人 | 21人 | 8人 | 675人 | (n=675) |
| 割合 | 43.4% | 45.0% | 7.3% | 3.1% | 1.2% | 100.0% | |
| 小学5年 | 209人 | 298人 | 88人 | 29人 | 12人 | 636人 | (n=636) |
| 割合 | 32.9% | 46.9% | 13.8% | 4.6% | 1.9% | 100.0% | |
| 中学2年 | 160人 | 212人 | 92人 | 63人 | 13人 | 540人 | (n=540) |
| 割合 | 29.6% | 39.3% | 17.0% | 11.7% | 2.4% | 100.0% | |
| 高校2年 | 79人 | 156人 | 132人 | 90人 | 23人 | 480人 | (n=480) |
| 割合 | 16.5% | 32.5% | 27.5% | 18.8% | 4.8% | 100.0% | |
| 全体 | 741人 | 970人 | 361人 | 203人 | 56人 | 2331人 | (n=2331) |
| 割合 | 31.8% | 41.6% | 15.5% | 8.7% | 2.4% | 100.0% | |

問2 - 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ答えてください。本を読むのは、どんな理由からですか。（2つまで選んでください）

・全体でみると、本を読む理由は、「たのしく、おもしろいから」が73.3%と最も多く、次いで「好きな作家やシリーズがあるから」（38.5%）、「知らないことがわかり、ためになるから」（31.1%）と続いている。

問2 - 【問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人のみ】本を読む理由（2つまで選択）

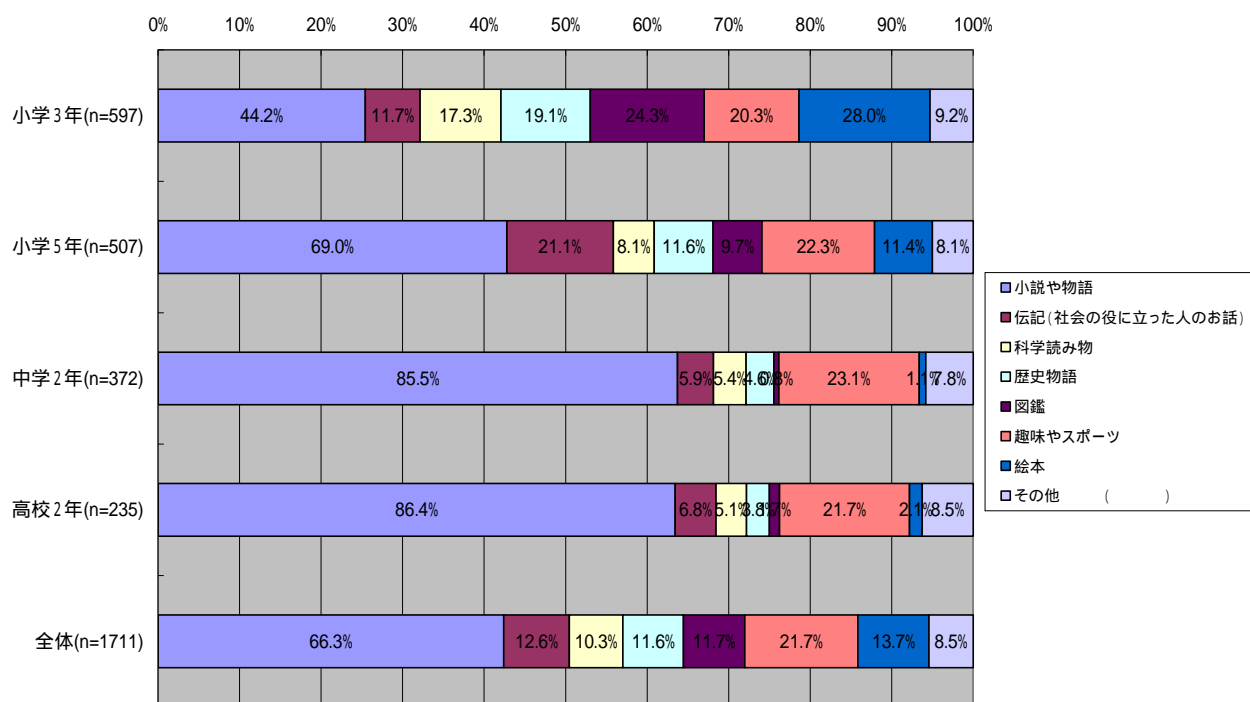


| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | 合計 |
|------|--------------|--------------------|-----------|-----------------|---------------|-------------|------|-----------------|
| | たのしく、おもしろいから | 知らないことがわかり、ためになるから | 考える力がつくから | 好きな作家やシリーズがあるから | 先生や家の人がすすめるから | 友達との話題になるから | その他 | |
| 小学3年 | 433人 | 287人 | 138人 | 167人 | 15人 | 25人 | 21人 | 1086人 |
| 割合 | 72.5% | 48.1% | 23.1% | 28.0% | 2.5% | 4.2% | 3.5% | 181.9% (n=597) |
| 小学5年 | 351人 | 149人 | 70人 | 220人 | 21人 | 36人 | 18人 | 865人 |
| 割合 | 69.2% | 29.4% | 13.8% | 43.4% | 4.1% | 7.1% | 3.6% | 170.6% (n=507) |
| 中学2年 | 284人 | 49人 | 27人 | 189人 | 10人 | 24人 | 28人 | 611人 |
| 割合 | 76.3% | 13.2% | 7.3% | 50.8% | 2.7% | 6.5% | 7.5% | 164.2% (n=372) |
| 高校2年 | 186人 | 47人 | 20人 | 82人 | 5人 | 12人 | 8人 | 360人 |
| 割合 | 79.1% | 20.0% | 8.5% | 34.9% | 2.1% | 5.1% | 3.4% | 153.2% (n=235) |
| 全体 | 1254人 | 532人 | 255人 | 658人 | 51人 | 97人 | 75人 | 2922人 |
| 割合 | 73.3% | 31.1% | 14.9% | 38.5% | 3.0% | 5.7% | 4.4% | 170.8% (n=1711) |

問2 - 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。
 どんな本を読んでいますか。(2つまで選んでください)

- ・ 読んでいる本の種類は、各学年とも「小説や物語」が最も多く、全体では66.3%である。次いで、小学3年生を除いて、「趣味やスポーツ」が多くあげられている。
- ・ 学年別にみると、小学校3年生では「絵本」(28.0%)と「図鑑」(24.3%)が他の学年に比べて高い割合であげられている。また、小学校5年生では「伝記(社会の役に立った人のお話)」が21.1%と他の学年に比べて高い割合であげられている。

問2- 【問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人のみ】どんな本を読むか(2つまで選択)

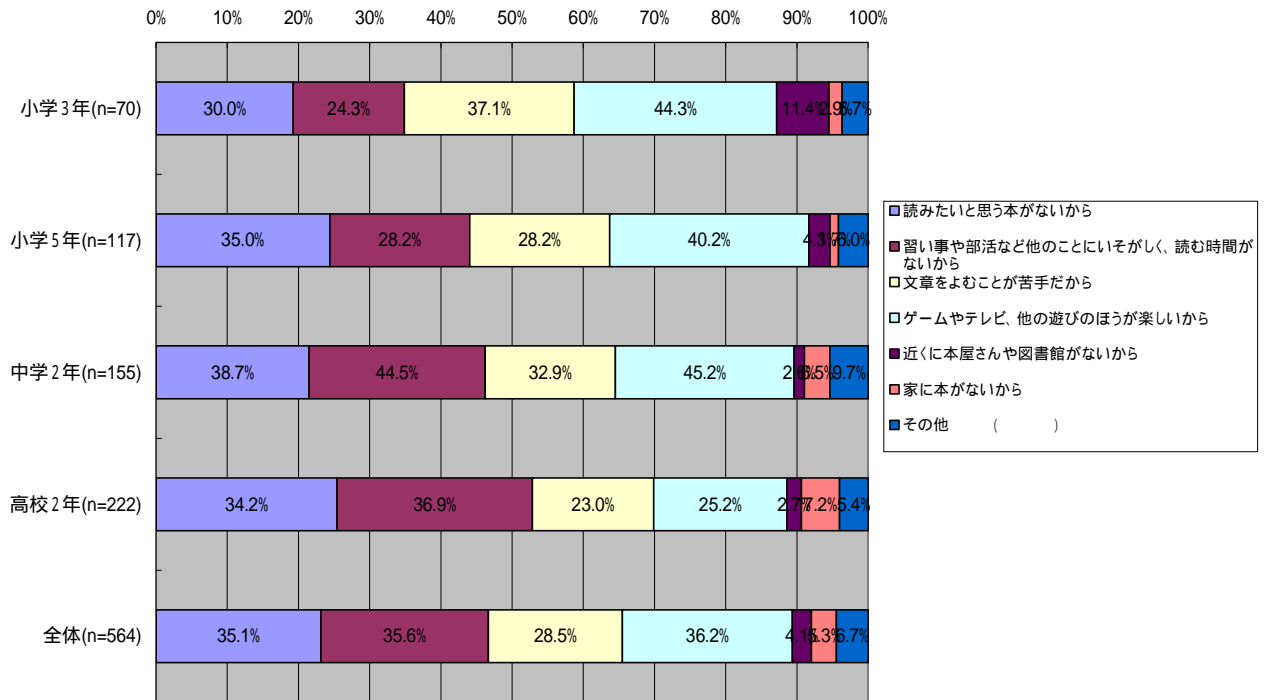


| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | 合計 |
|------|-------|------------------|-------|-------|-------|---------|-------|------|-----------------|
| | 小説や物語 | 伝記(社会の役に立った人のお話) | 科学読み物 | 歴史物語 | 図鑑 | 趣味やスポーツ | 絵本 | その他 | |
| 小学3年 | 264人 | 70人 | 103人 | 114人 | 145人 | 121人 | 167人 | 55人 | 1039人 |
| 割合 | 44.2% | 11.7% | 17.3% | 19.1% | 24.3% | 20.3% | 28.0% | 9.2% | 174.0% (n=597) |
| 小学5年 | 350人 | 107人 | 41人 | 59人 | 49人 | 113人 | 58人 | 41人 | 818人 |
| 割合 | 69.0% | 21.1% | 8.1% | 11.6% | 9.7% | 22.3% | 11.4% | 8.1% | 161.3% (n=507) |
| 中学2年 | 318人 | 22人 | 20人 | 17人 | 3人 | 86人 | 4人 | 29人 | 499人 |
| 割合 | 85.5% | 5.9% | 5.4% | 4.6% | 0.8% | 23.1% | 1.1% | 7.8% | 134.1% (n=372) |
| 高校2年 | 203人 | 16人 | 12人 | 9人 | 4人 | 51人 | 5人 | 20人 | 320人 |
| 割合 | 86.4% | 6.8% | 5.1% | 3.8% | 1.7% | 21.7% | 2.1% | 8.5% | 136.2% (n=235) |
| 全体 | 1135人 | 215人 | 176人 | 199人 | 201人 | 371人 | 234人 | 145人 | 2676人 |
| 割合 | 66.3% | 12.6% | 10.3% | 11.6% | 11.7% | 21.7% | 13.7% | 8.5% | 156.4% (n=1711) |

問2 - 問2の質問で、「ウ、エ」を選んだ人だけ答えてください。どんな理由からですか。
(いくつでも選んでください。)

・全体で見ると、本を読まない理由は、「ゲームやテレビ、他の遊びの方が楽しいから」が36.2%と最も多く、次いで「習い事や部活など他のことに忙しく、読む時間がないから」(35.6%)、「読みたいと思う本がないから」(35.1%)と続いているまた、「文章を読むことが苦手だから」(28.5%)といった回答も多い。

問2 - 【問2の質問で、「ウ、エ」を選んだ人のみ】本を読まない理由(複数回答可)

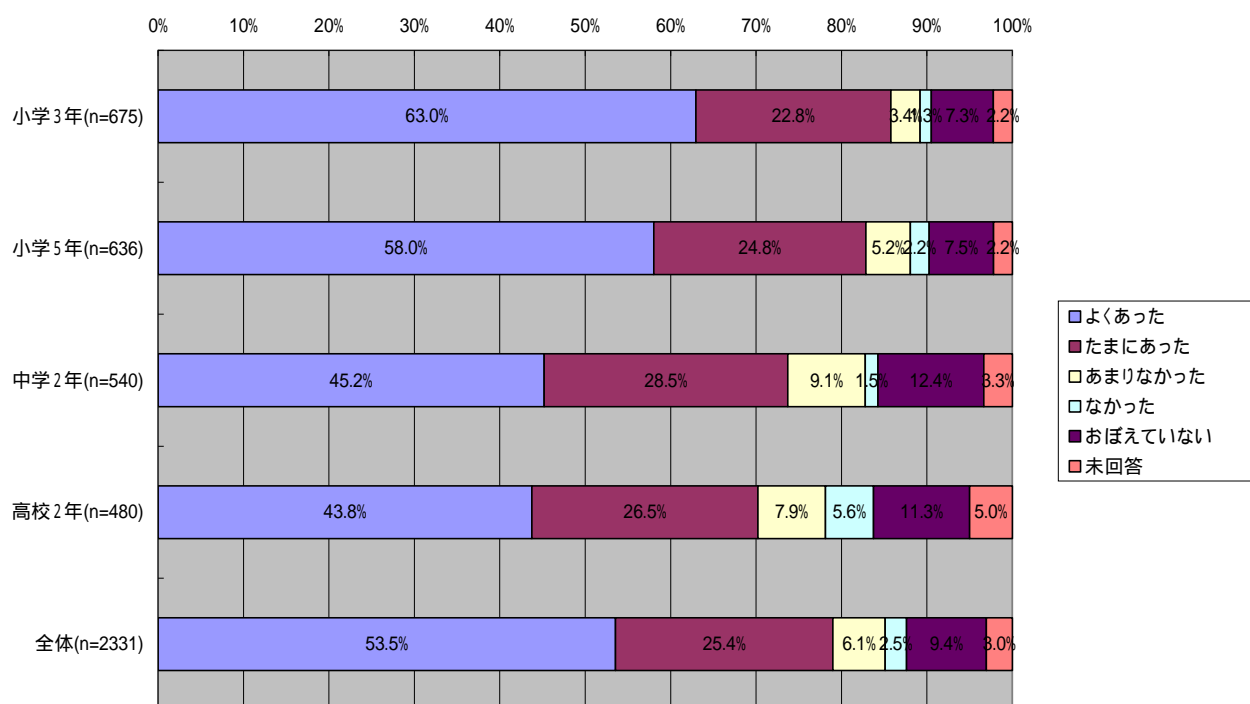


| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | 合計 |
|------|---------------|----------------------------|---------------|-----------------------|------------------|----------|------|----------------|
| | 読みたいと思う本がないから | 習い事や部活など他のことに忙しく、読む時間がないから | 文章をよむことが苦手だから | ゲームやテレビ、他の遊びのほうが好きだから | 近くに本屋さんや図書館がないから | 家に本がないから | その他 | |
| 小学3年 | 21人 | 17人 | 26人 | 31人 | 8人 | 2人 | 4人 | 109人 |
| 割合 | 30.0% | 24.3% | 37.1% | 44.3% | 11.4% | 2.9% | 5.7% | 155.7% (n=70) |
| 小学5年 | 41人 | 33人 | 33人 | 47人 | 5人 | 2人 | 7人 | 168人 |
| 割合 | 35.0% | 28.2% | 28.2% | 40.2% | 4.3% | 1.7% | 6.0% | 143.6% (n=117) |
| 中学2年 | 60人 | 69人 | 51人 | 70人 | 4人 | 10人 | 15人 | 279人 |
| 割合 | 38.7% | 44.5% | 32.9% | 45.2% | 2.6% | 6.5% | 9.7% | 180.0% (n=155) |
| 高校2年 | 76人 | 82人 | 51人 | 56人 | 6人 | 16人 | 12人 | 299人 |
| 割合 | 34.2% | 36.9% | 23.0% | 25.2% | 2.7% | 7.2% | 5.4% | 134.7% (n=222) |
| 全体 | 198人 | 201人 | 161人 | 204人 | 23人 | 30人 | 38人 | 855人 |
| 割合 | 35.1% | 35.6% | 28.5% | 36.2% | 4.1% | 5.3% | 6.7% | 151.6% (n=564) |

問3 あなたは小さいとき、本を読んでもらったことがありますか。

・ 全体でみると、小さいときに本を読んでもらったことが「よくあった」児童・生徒は53.5%、「たまにあった」は25.4%で、合すると約8割は小さいときに本を読んでもらった経験がある。

問3 小さいときの読み聞かせ経験の有無

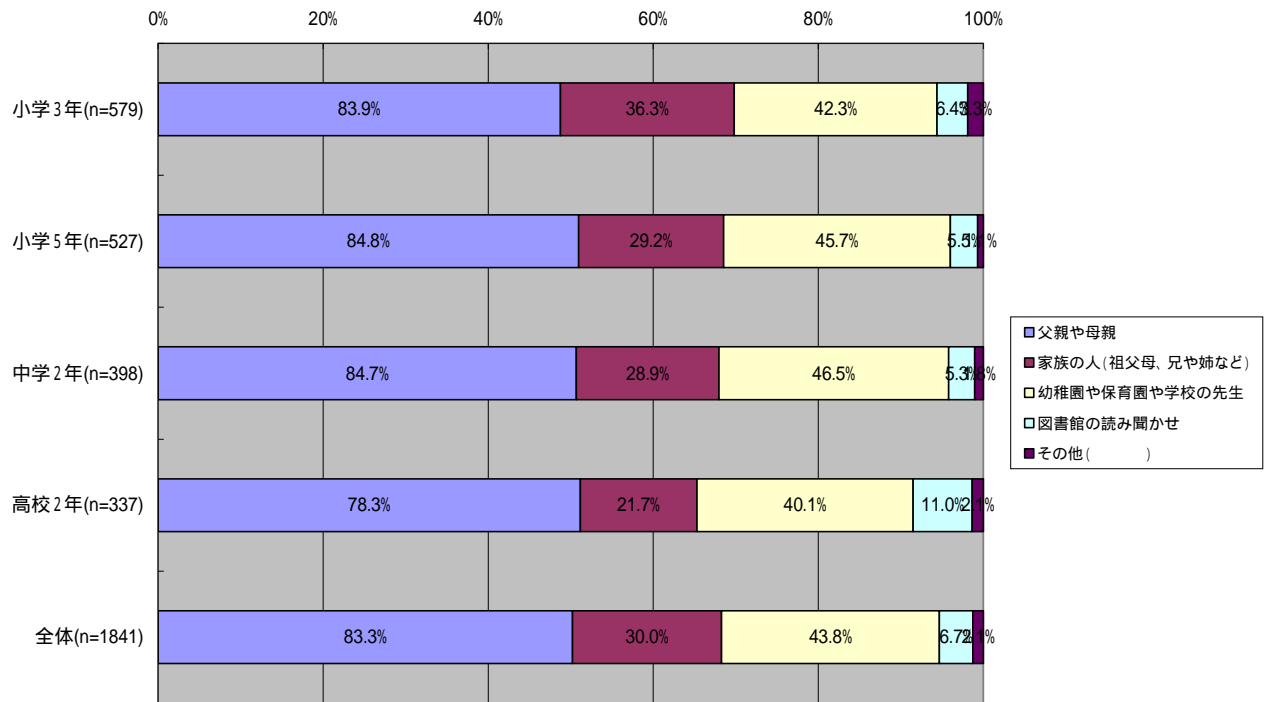


| | ア | イ | ウ | エ | オ | 未回答 | 合計 | |
|------|-------|--------|---------|------|---------|------|--------|----------|
| | よくあった | たまにあった | あまりなかった | なかった | おぼえていない | | | |
| 小学3年 | 425人 | 154人 | 23人 | 9人 | 49人 | 15人 | 675人 | |
| 割合 | 63.0% | 22.8% | 3.4% | 1.3% | 7.3% | 2.2% | 100.0% | (n=675) |
| 小学5年 | 369人 | 158人 | 33人 | 14人 | 48人 | 14人 | 636人 | |
| 割合 | 58.0% | 24.8% | 5.2% | 2.2% | 7.5% | 2.2% | 100.0% | (n=636) |
| 中学2年 | 244人 | 154人 | 49人 | 8人 | 67人 | 18人 | 540人 | |
| 割合 | 45.2% | 28.5% | 9.1% | 1.5% | 12.4% | 3.3% | 100.0% | (n=540) |
| 高校2年 | 210人 | 127人 | 38人 | 27人 | 54人 | 24人 | 480人 | |
| 割合 | 43.8% | 26.5% | 7.9% | 5.6% | 11.3% | 5.0% | 100.0% | (n=480) |
| 全体 | 1248人 | 593人 | 143人 | 58人 | 218人 | 71人 | 2331人 | |
| 割合 | 53.5% | 25.4% | 6.1% | 2.5% | 9.4% | 3.0% | 100.0% | (n=2331) |

問3 - 問3の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。おもに誰に読んでもらいましたか。（2つまで選んでください）

- 本を読んでくれたのは、「父親や母親」が83.3%と最も多く、次いで「幼稚園や保育園の先生」（43.8%）、「家族の人（おじいちゃん・おばあちゃん、兄や姉など）」（30.0%）と続く。

問3- 【問3の質問で、「ア、イ」を選んだ人のみ】誰に読み聞かせをしてもらったか（2つまで選択）

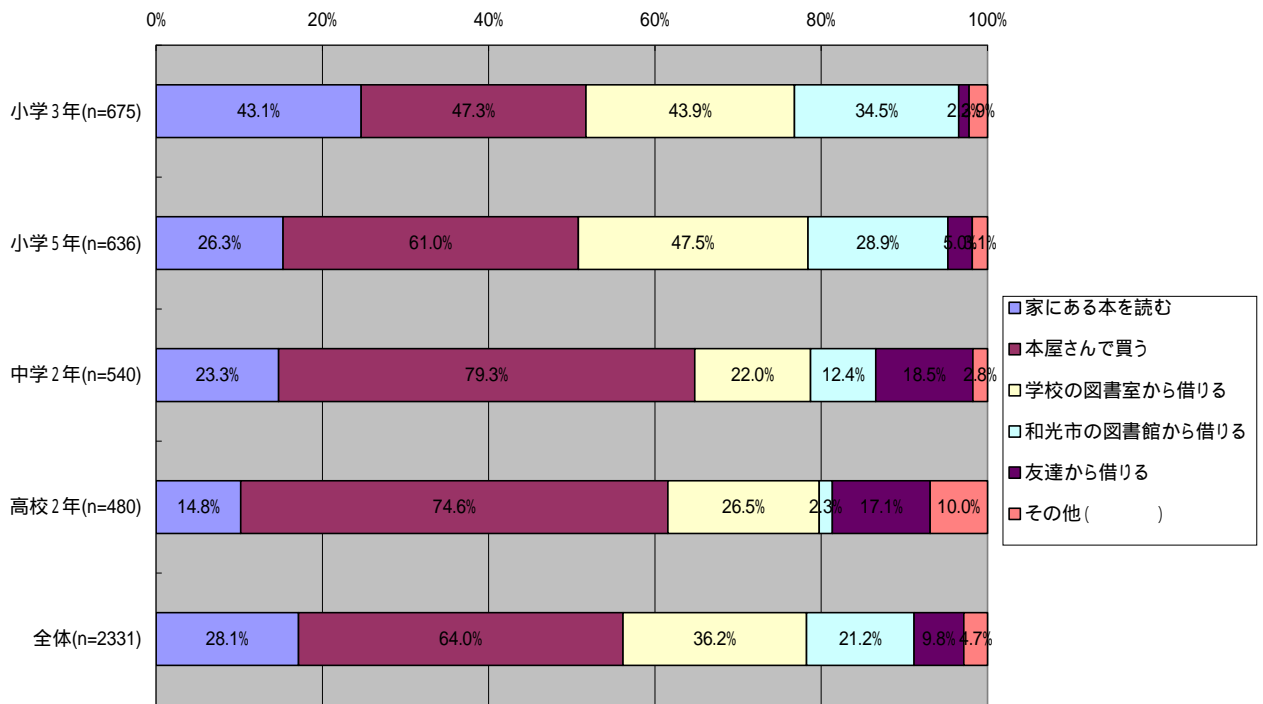


| | ア 父親や母親 | イ 家族の人 (祖父母、 兄や姉など) | ウ 幼稚園や 保育園や 学校の先生 | エ 図書館の 読み聞かせ | オ その他 | 合計 | |
|------|------------|------------------------------|----------------------------|--------------------|----------|--------|----------|
| 小学3年 | 486人 | 210人 | 245人 | 37人 | 19人 | 997人 | (n=579) |
| 割合 | 83.9% | 36.3% | 42.3% | 6.4% | 3.3% | 172.2% | |
| 小学5年 | 447人 | 154人 | 241人 | 29人 | 6人 | 877人 | (n=527) |
| 割合 | 84.8% | 29.2% | 45.7% | 5.5% | 1.1% | 166.4% | |
| 中学2年 | 337人 | 115人 | 185人 | 21人 | 7人 | 665人 | (n=398) |
| 割合 | 84.7% | 28.9% | 46.5% | 5.3% | 1.8% | 167.1% | |
| 高校2年 | 264人 | 73人 | 135人 | 37人 | 7人 | 516人 | (n=337) |
| 割合 | 78.3% | 21.7% | 40.1% | 11.0% | 2.1% | 153.1% | |
| 全体 | 1534人 | 552人 | 806人 | 124人 | 39人 | 3055人 | (n=1841) |
| 割合 | 83.3% | 30.0% | 43.8% | 6.7% | 2.1% | 165.9% | |

問4 あなたは読みたいと思う本はどのようにして手に入れていきますか。(2つまで選んでください)

- ・ 読みたい本の入手方法は、各学年とも「本屋さんで買う」が最も多く、全体では64.0%である。
- ・ 学年別にみると、「和光市の図書館から借りる」児童・生徒の割合は、年齢が高いほど低く、小学3年生では34.5%だが、高校2年生では2.3%となる。また、「友達から借りる」児童・生徒は、小学生では数パーセントだが、中学生・高校生では2割近くとなっている。

問4 読みたい本の入手方法(2つまで選択)

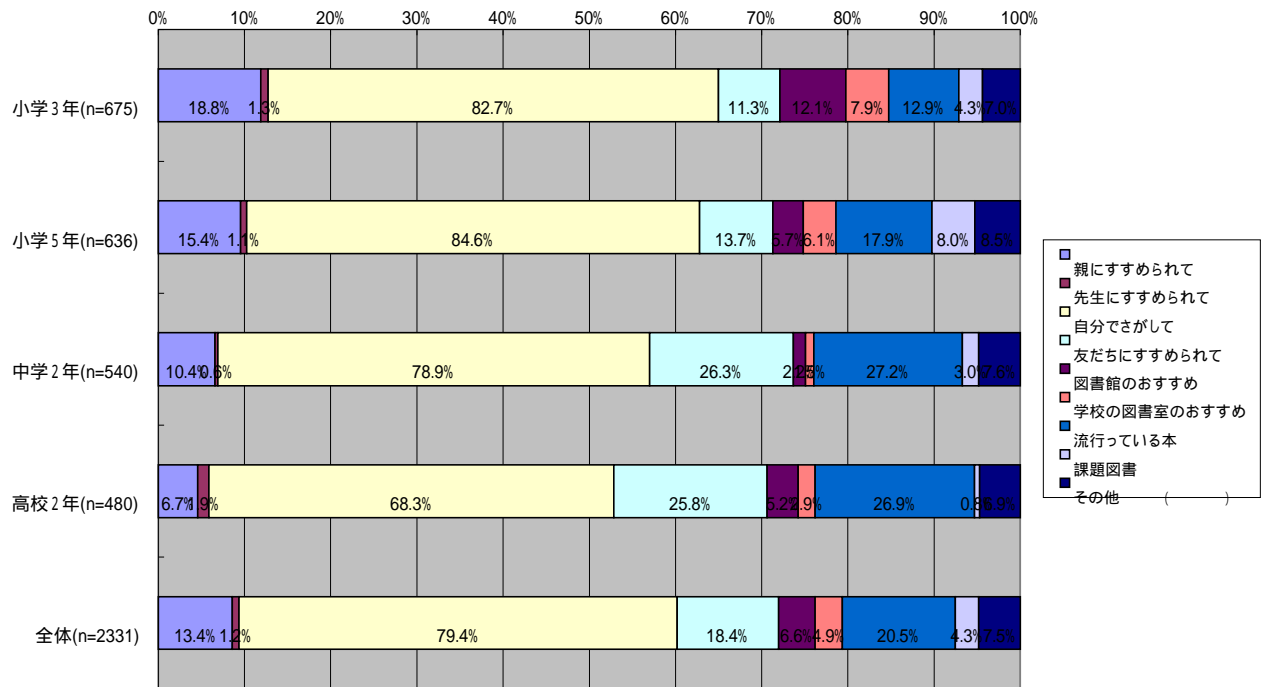


| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | 合計 | |
|------|----------|---------|-------------|--------------|---------|-------|--------|----------|
| | 家にある本を読む | 本屋さんで買う | 学校の図書室から借りる | 和光市の図書館から借りる | 友達から借りる | その他 | | |
| 小学3年 | 291人 | 319人 | 296人 | 233人 | 15人 | 26人 | 1180人 | |
| 割合 | 43.1% | 47.3% | 43.9% | 34.5% | 2.2% | 3.9% | 174.8% | (n=675) |
| 小学5年 | 167人 | 388人 | 302人 | 184人 | 32人 | 20人 | 1093人 | |
| 割合 | 26.3% | 61.0% | 47.5% | 28.9% | 5.0% | 3.1% | 171.9% | (n=636) |
| 中学2年 | 126人 | 428人 | 119人 | 67人 | 100人 | 15人 | 855人 | |
| 割合 | 23.3% | 79.3% | 22.0% | 12.4% | 18.5% | 2.8% | 158.3% | (n=540) |
| 高校2年 | 71人 | 358人 | 127人 | 11人 | 82人 | 48人 | 697人 | |
| 割合 | 14.8% | 74.6% | 26.5% | 2.3% | 17.1% | 10.0% | 145.2% | (n=480) |
| 全体 | 655人 | 1493人 | 844人 | 495人 | 229人 | 109人 | 3825人 | |
| 割合 | 28.1% | 64.0% | 36.2% | 21.2% | 9.8% | 4.7% | 164.1% | (n=2331) |

問5 あなたが読む本は、どのようにして選んでいますか。(2つまで選んでください)

- 全体でみると、読む本の選び方は、「自分でさがして」が79.4%と最も多く、次いで「流行っている本」(20.5%)、「友だちにすすめられて」(18.4%)と続いている。
- 学年別にみると、「自分でさがして」と回答した児童・生徒の割合は、小学生よりも中学生・高校生のほうが低く、反対に、「友だちにすすめられて」や「流行っている本」は小学生よりも中学生・高校生のほうが高い傾向にある。

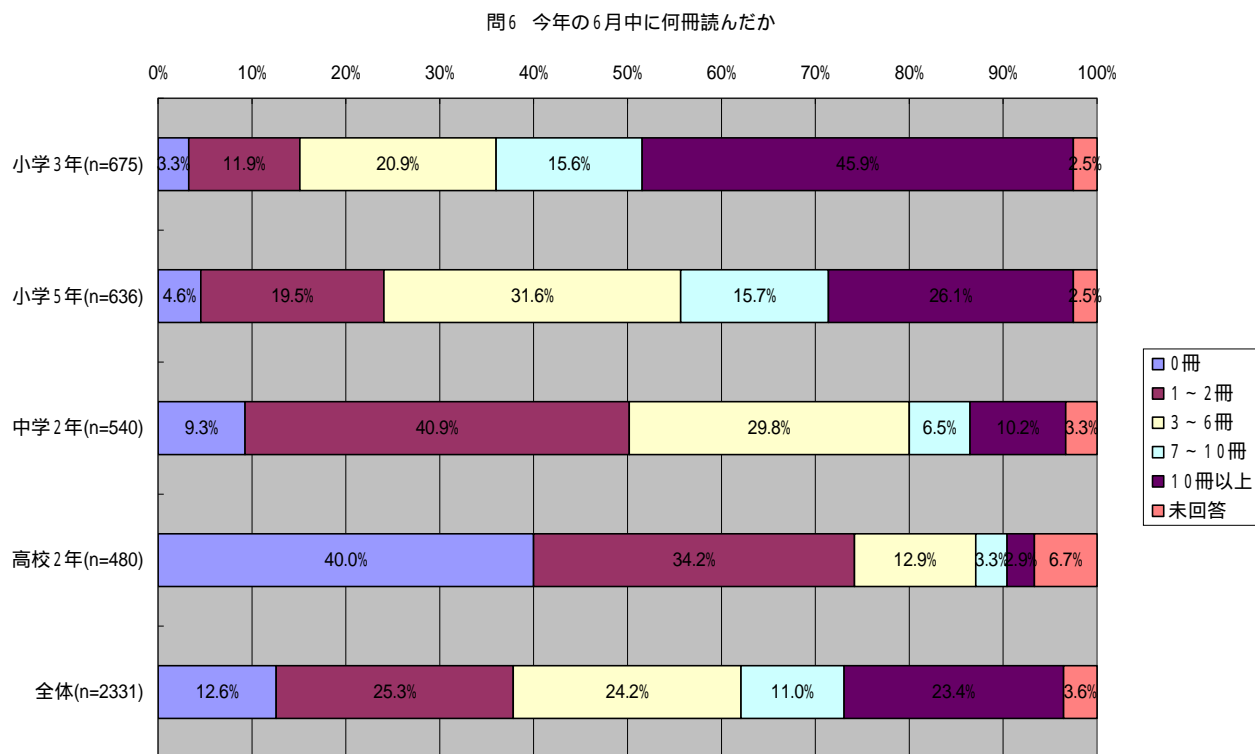
問5 読む本をどのようにして選んでいるか(2つまで選択可)



| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | 合計 |
|------|----------|-----------|---------|------------|----------|-------------|---------|------|------|-----------------|
| | 親にすすめられて | 先生にすすめられて | 自分でさがして | 友だちにすすめられて | 図書館のおすすめ | 学校の図書室のおすすめ | 流行っている本 | 課題図書 | その他 | |
| 小学3年 | 127人 | 9人 | 558人 | 76人 | 82人 | 53人 | 87人 | 29人 | 47人 | 1068人 |
| 割合 | 18.8% | 1.3% | 82.7% | 11.3% | 12.1% | 7.9% | 12.9% | 4.3% | 7.0% | 158.2% (n=675) |
| 小学5年 | 98人 | 7人 | 538人 | 87人 | 36人 | 39人 | 114人 | 51人 | 54人 | 1024人 |
| 割合 | 15.4% | 1.1% | 84.6% | 13.7% | 5.7% | 6.1% | 17.9% | 8.0% | 8.5% | 161.0% (n=636) |
| 中学2年 | 56人 | 3人 | 426人 | 142人 | 12人 | 8人 | 147人 | 16人 | 41人 | 851人 |
| 割合 | 10.4% | 0.6% | 78.9% | 26.3% | 2.2% | 1.5% | 27.2% | 3.0% | 7.6% | 157.6% (n=540) |
| 高校2年 | 32人 | 9人 | 328人 | 124人 | 25人 | 14人 | 129人 | 4人 | 33人 | 698人 |
| 割合 | 6.7% | 1.9% | 68.3% | 25.8% | 5.2% | 2.9% | 26.9% | 0.8% | 6.9% | 145.4% (n=480) |
| 全体 | 313人 | 28人 | 1850人 | 429人 | 155人 | 114人 | 477人 | 100人 | 175人 | 3641人 |
| 割合 | 13.4% | 1.2% | 79.4% | 18.4% | 6.6% | 4.9% | 20.5% | 4.3% | 7.5% | 156.2% (n=2331) |

問6 今年の6月中に何冊くらいの本を読みましたか。(読んでいる途中でも1冊と数えてください)

- ・ 今年の6月中に読んだ本の冊数は、「1～2冊」が25.3%、「3～6冊」が24.2%で、6冊以内が約半数を占める。一方、「10冊以上」という児童・生徒も23.4%みられる。

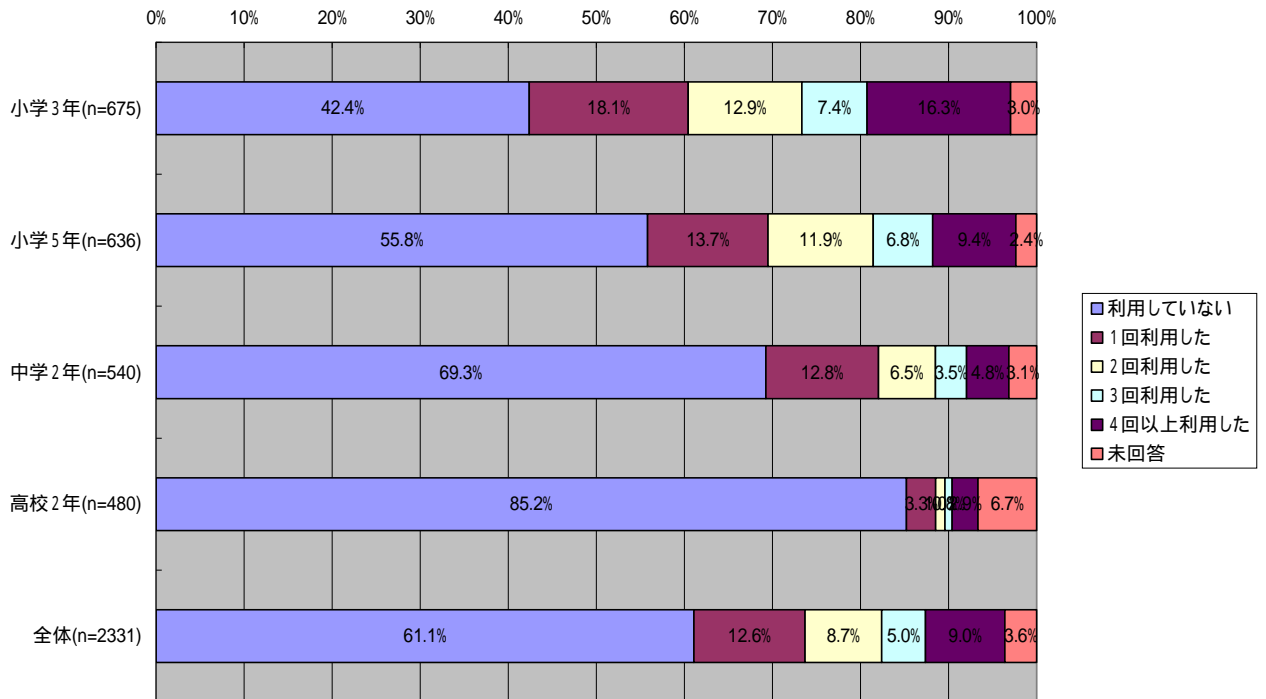


| | ア | イ | ウ | エ | オ | 未回答 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 0冊 | 1～2冊 | 3～6冊 | 7～10冊 | 10冊以上 | | |
| 小学3年 | 22人 | 80人 | 141人 | 105人 | 310人 | 17人 | 675人 |
| 割合 | 3.3% | 11.9% | 20.9% | 15.6% | 45.9% | 2.5% | 100.0% |
| 小学5年 | 29人 | 124人 | 201人 | 100人 | 166人 | 16人 | 636人 |
| 割合 | 4.6% | 19.5% | 31.6% | 15.7% | 26.1% | 2.5% | 100.0% |
| 中学2年 | 50人 | 221人 | 161人 | 35人 | 55人 | 18人 | 540人 |
| 割合 | 9.3% | 40.9% | 29.8% | 6.5% | 10.2% | 3.3% | 100.0% |
| 高校2年 | 192人 | 164人 | 62人 | 16人 | 14人 | 32人 | 480人 |
| 割合 | 40.0% | 34.2% | 12.9% | 3.3% | 2.9% | 6.7% | 100.0% |
| 全体 | 293人 | 589人 | 565人 | 256人 | 545人 | 83人 | 2331人 |
| 割合 | 12.6% | 25.3% | 24.2% | 11.0% | 23.4% | 3.6% | 100.0% |

問7 あなたは、6月中に和光市図書館、南公民館図書室、坂下公民館図書室、中央公民館図書室を何回利用しましたか。

- 全体でみると、約6割の児童・生徒は、今年の6月中に、和光市図書館、南公民館図書室、坂下公民館図書室、中央公民館図書室を「利用していない」と回答している。
- 学年別にみると、「利用していない」児童・生徒の割合は、年齢が高いほど高くなり、高校2年生では85.2%が「利用していない」状況である。反対に、「利用した」児童・生徒の割合は、年齢が低いほど高くなり、小学校3年生では16.3%が「（1か月に）4回以上利用した」と回答している。

問7 6月中の市内図書館・図書室の利用頻度

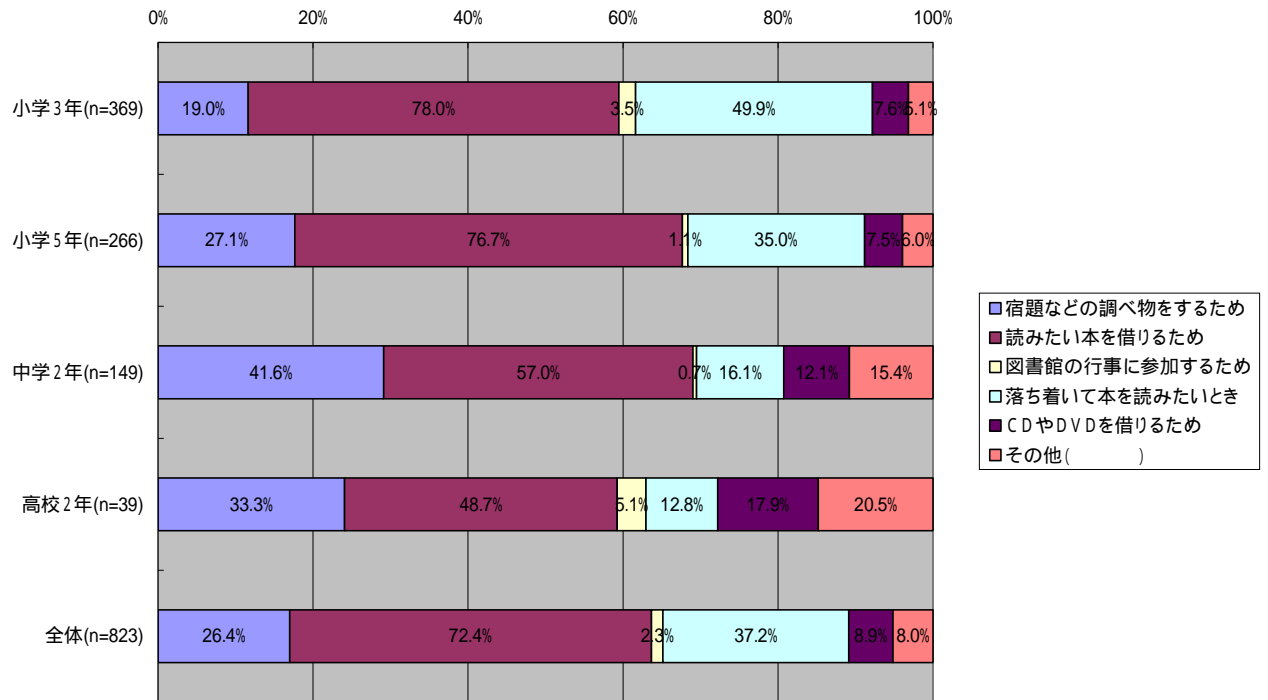


| | ア | イ | ウ | エ | オ | 未回答 | 合計 | |
|------|---------|--------|--------|--------|----------|------|--------|----------|
| | 利用していない | 1回利用した | 2回利用した | 3回利用した | 4回以上利用した | | | |
| 小学3年 | 286人 | 122人 | 87人 | 50人 | 110人 | 20人 | 675人 | (n=675) |
| 割合 | 42.4% | 18.1% | 12.9% | 7.4% | 16.3% | 3.0% | 100.0% | |
| 小学5年 | 355人 | 87人 | 76人 | 43人 | 60人 | 15人 | 636人 | (n=636) |
| 割合 | 55.8% | 13.7% | 11.9% | 6.8% | 9.4% | 2.4% | 100.0% | |
| 中学2年 | 374人 | 69人 | 35人 | 19人 | 26人 | 17人 | 540人 | (n=540) |
| 割合 | 69.3% | 12.8% | 6.5% | 3.5% | 4.8% | 3.1% | 100.0% | |
| 高校2年 | 409人 | 16人 | 5人 | 4人 | 14人 | 32人 | 480人 | (n=480) |
| 割合 | 85.2% | 3.3% | 1.0% | 0.8% | 2.9% | 6.7% | 100.0% | |
| 全体 | 1424人 | 294人 | 203人 | 116人 | 210人 | 84人 | 2331人 | (n=2331) |
| 割合 | 61.1% | 12.6% | 8.7% | 5.0% | 9.0% | 3.6% | 100.0% | |

問7 - 問7の質問で、「イ、ウ、エ、オ」を選んだ人だけこたえてください。 どんなときに利用しますか。（2つまで選んでください）

・ 全体でみると、図書館・公民館図書室の利用目的は、「読みたい本を借りるため」が72.4%と最も多く、次いで「落ち着いて本を読みたいとき」（37.2%）、「宿題などの調べ物をするため」（26.4%）と続いている。なお、「その他」として、中学生・高校生では、「勉強のため」と記入した生徒が多くなっている。

問7 - 【問7の質問で、「イ、ウ、エ、オ」を選んだ人のみ】どんなときに利用するか(2つまで選択可)

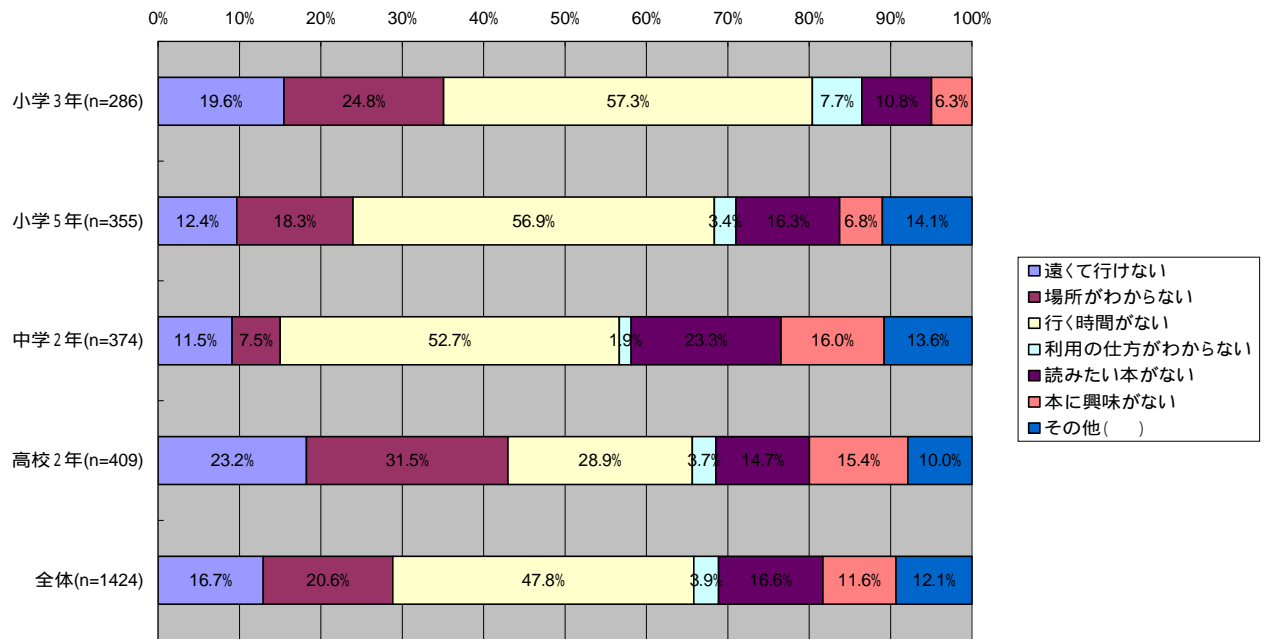


| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | 合計 | |
|------|---------------|-------------|---------------|---------------|--------------|-------|--------|---------|
| | 宿題などの調べ物をするため | 読みたい本を借りるため | 図書館の行事に参加するため | 落ち着いて本を読みたいとき | CDやDVDを借りるため | その他 | | |
| 小学3年 | 70人 | 288人 | 13人 | 184人 | 28人 | 19人 | 602人 | |
| 割合 | 19.0% | 78.0% | 3.5% | 49.9% | 7.6% | 5.1% | 163.1% | (n=369) |
| 小学5年 | 72人 | 204人 | 3人 | 93人 | 20人 | 16人 | 408人 | |
| 割合 | 27.1% | 76.7% | 1.1% | 35.0% | 7.5% | 6.0% | 153.4% | (n=266) |
| 中学2年 | 62人 | 85人 | 1人 | 24人 | 18人 | 23人 | 213人 | |
| 割合 | 41.6% | 57.0% | 0.7% | 16.1% | 12.1% | 15.4% | 143.0% | (n=149) |
| 高校2年 | 13人 | 19人 | 2人 | 5人 | 7人 | 8人 | 54人 | |
| 割合 | 33.3% | 48.7% | 5.1% | 12.8% | 17.9% | 20.5% | 138.5% | (n=39) |
| 全体 | 217人 | 596人 | 19人 | 306人 | 73人 | 66人 | 1277人 | |
| 割合 | 26.4% | 72.4% | 2.3% | 37.2% | 8.9% | 8.0% | 155.2% | (n=823) |

問7 - 問7の質問で、「ア」を選んだ人だけ教えてください。図書館を利用しないのどんな理由からですか。（2つまで選んでください）

- ・ 全体でみると、図書館・公民館図書室を利用しない理由は、「行く時間がない」が47.8%と最も多く、次いで「場所がわからない」(20.6%)、「遠くて行けない」(16.7%)、「読みたい本がない」(16.6%)と続いている。
- ・ 学年別にみると、高校2年生では「場所がわからない」と回答した生徒が最も多い。
- ・ 「その他」の具体的な内容としては、小学校3年生では「親が行かせてくれない」という回答は4件みられた。また、高校2年生では、「市内に住んでいない(地元の図書館に行く)」という回答が多数みられた。

問7- 【問7の質問で、「ア」を選んだ人のみ】図書館を利用しない理由(2つまで選択可)

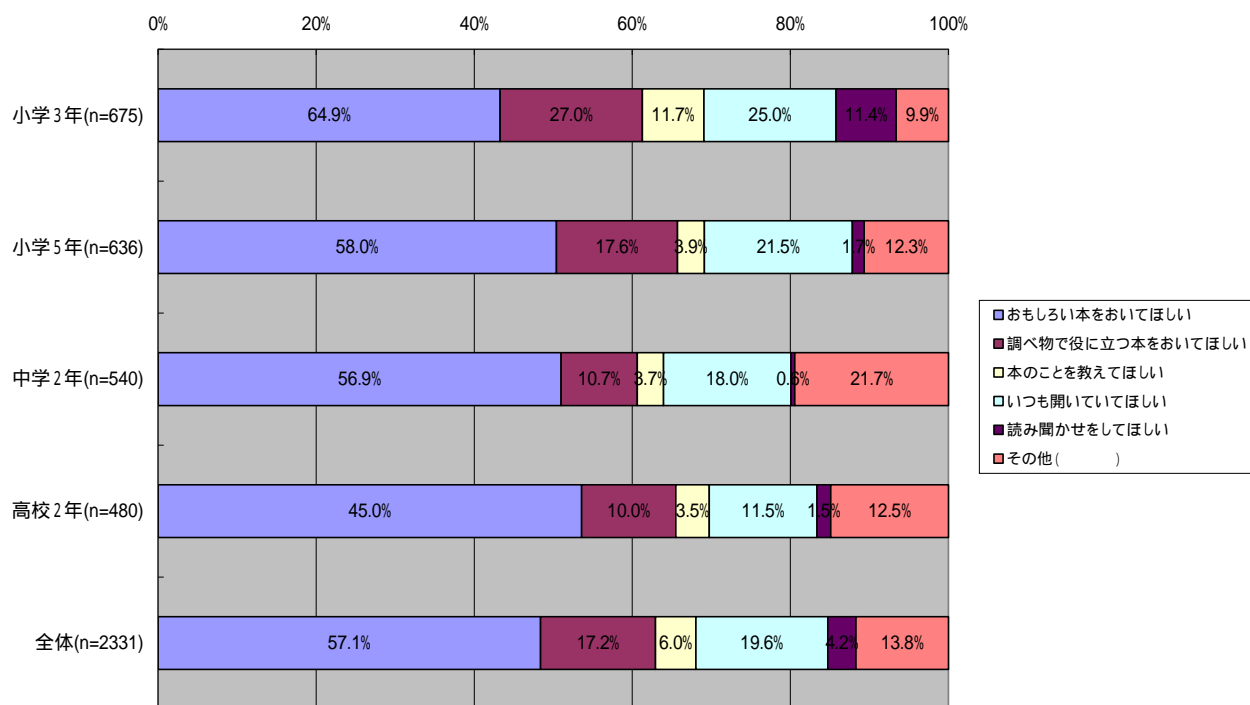


| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | 合計 |
|------|---------|----------|---------|-------------|----------|---------|-------|-----------------|
| | 遠くて行けない | 場所がわからない | 行く時間がない | 利用の仕方がわからない | 読みたい本がない | 本に興味がない | その他 | |
| 小学3年 | 56人 | 71人 | 164人 | 22人 | 31人 | 18人 | 30人 | 392人 |
| 割合 | 19.6% | 24.8% | 57.3% | 7.7% | 10.8% | 6.3% | 10.5% | 137.1% (n=286) |
| 小学5年 | 44人 | 65人 | 202人 | 12人 | 58人 | 24人 | 50人 | 455人 |
| 割合 | 12.4% | 18.3% | 56.9% | 3.4% | 16.3% | 6.8% | 14.1% | 128.2% (n=355) |
| 中学2年 | 43人 | 28人 | 197人 | 7人 | 87人 | 60人 | 51人 | 473人 |
| 割合 | 11.5% | 7.5% | 52.7% | 1.9% | 23.3% | 16.0% | 13.6% | 126.5% (n=374) |
| 高校2年 | 95人 | 129人 | 118人 | 15人 | 60人 | 63人 | 41人 | 521人 |
| 割合 | 23.2% | 31.5% | 28.9% | 3.7% | 14.7% | 15.4% | 10.0% | 127.4% (n=409) |
| 全体 | 238人 | 293人 | 681人 | 56人 | 236人 | 165人 | 172人 | 1841人 |
| 割合 | 16.7% | 20.6% | 47.8% | 3.9% | 16.6% | 11.6% | 12.1% | 129.3% (n=1424) |

問8 和光市図書館に希望することはなんですか。

・ 全体で見ると、和光市図書館に希望することに、「面白い本をおいてほしい」(57.1%)が最も高く、次いで、「いつも開いていてほしい」(19.6%)、「調べ物で役立つ本をおいてほしい」(17.2%)が続く。

問8 図書館に希望すること



| | ア | イ | ウ | エ | オ | カ | 合計 | |
|------|---------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------|--------|----------|
| | おもしろい本をおいてほしい | 調べ物で役に立つ本をおいてほしい | 本のことを教えてほしい | いつも開いていてほしい | 読み聞かせをしてほしい | その他 | | |
| 小学3年 | 438人 | 182人 | 79人 | 169人 | 77人 | 67人 | 1012人 | |
| 割合 | 64.9% | 27.0% | 11.7% | 25.0% | 11.4% | 9.9% | 149.9% | (n=675) |
| 小学5年 | 369人 | 112人 | 25人 | 137人 | 11人 | 78人 | 732人 | |
| 割合 | 58.0% | 17.6% | 3.9% | 21.5% | 1.7% | 12.3% | 115.1% | (n=636) |
| 中学2年 | 307人 | 58人 | 20人 | 97人 | 3人 | 117人 | 602人 | |
| 割合 | 56.9% | 10.7% | 3.7% | 18.0% | 0.6% | 21.7% | 111.5% | (n=540) |
| 高校2年 | 216人 | 48人 | 17人 | 55人 | 7人 | 60人 | 403人 | |
| 割合 | 45.0% | 10.0% | 3.5% | 11.5% | 1.5% | 12.5% | 84.0% | (n=480) |
| 全体 | 1330人 | 400人 | 141人 | 458人 | 98人 | 322人 | 2749人 | |
| 割合 | 57.1% | 17.2% | 6.0% | 19.6% | 4.2% | 13.8% | 117.9% | (n=2331) |

アンケート調査票（市内小中学生用）

読書活動についてのアンケート
学校名（ ）学校 学年（ ）年（男・女）

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。

ア 好き イ どちらかといえば好き ウ どちらかといえば嫌い エ 嫌い

問2 あなたは、本をよく読むほうですか。（まんが、雑誌をのぞく）

ア よく読む イ たまに読む ウ ほとんど読まない エ 読まない



問2-1 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

本を読むのは、どんな理由からですか。（2つまで選んでください）

ア たのしく、おもしろいから イ 知らないことがわかり、ためになるから ウ 考える力がつくから
エ 好きな作家やシリーズがあるから オ 先生や家の人がすすめるから カ 友達との話題になるから
キ その他（ ）

問2-2 問2の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

どんな本を読んでいますか。（2つまで選んでください）

ア 小説や物語 イ 伝記（社会の役に立った人のお話） ウ 科学読み物 エ 歴史物語
オ 図鑑 カ 趣味やスポーツ キ 絵本 ク その他（ ）

問2-3 問2の質問で、「ウ、エ」を選んだ人だけ教えてください。

どんな理由からですか。（いくつでも選んでください。）

ア 読みたいと思う本がないから イ 習い事や部活など他のことにいそがしく、読む時間がないから
ウ 文章をよむことが苦手だから エ ゲームやテレビ、他の遊びのほうが楽しいから
オ 近くに本屋さんや図書館がないから カ 家に本がないから キ その他（ ）

問3 あなたは小さいとき、本を読んでもらったことがありますか。

ア よくあった イ たまにあった ウ あまりなかった エ なかった オ おぼえていない



問3-1 問3の質問で、「ア、イ」を選んだ人だけ教えてください。

おもに誰に読んでもらいましたか。（2つまで選んでください）

ア 父親や母親 イ 家族の人（おじいちゃん・おばあちゃん、兄や姉など） ウ 幼稚園や保育園や学校の先生
エ 図書館の読み聞かせ オ その他（ ）

（裏面に続きます）

問4 あなたは読みたいと思う本はどのようにして手に入れてありますか。(2つまで選んでください)

ア 家にある本を読む イ 本屋さんで買う ウ 学校の図書室から借りる
エ 和光市の図書館から借りる オ 友達から借りる カ その他()

問5 あなたが読む本は、どのようにして選んでいますか。(2つまで選んでください)

ア 親にすすめられて イ 先生にすすめられて ウ 自分でさがして エ 友達ちにすすめられて
オ 図書館のおすすめ カ 学校の図書室のおすすめ キ 流行っている本
ク 課題図書 ケ その他()

問6 今年の6月中に何冊くらいの本を読みましたか。

(読んでいる途中でも1冊と数えてください)

ア 0冊 イ 1~2冊 ウ 3~6冊 エ 7~10冊 オ 10冊以上

問7 あなたは、6月中に和光市図書館、南公民館図書室、坂下公民館図書室、中央公民館図書室を何回利用しましたか。

ア 利用していない イ 1回利用した ウ 2回利用した エ 3回利用した オ 4回以上利用した



問7 - 問7の質問で、「イ、ウ、エ、オ」を選んだ人だけこたえてください。

どんなときに利用しますか。(2つまで選んでください)

ア 宿題などの調べ物をするため イ 読みたい本を借りるため ウ 図書館の行事に参加するため
エ 落ち着いて本を読みみたいとき オ CDやDVDを借りるため カ その他()

問7 - 問7の質問で、「ア」を選んだ人だけこたえてください。

図書館を利用しないのは、どんな理由からですか。(2つまで選んでください)

ア 遠くて行けない イ 場所がわからない ウ 行く時間がない エ 利用の仕方がわからない
オ 読みたい本がない カ 本に興味がない キ その他()

問8 和光市図書館に希望することはなんですか。

ア おもしろい本をおいてほしい イ 調べ物で役に立つ本をおいてほしい ウ 本のことを教えてほしい
エ いつも開いていてほしい オ 読み聞かせをしてほしい カ その他()

ご協力ありがとうございました。

和光市図書館

アンケート調査票（各公共施設用）

第二次和光市子ども読書活動推進計画等の策定に伴うアンケート調査

| | | | |
|-----|--|------|--|
| 学校名 | | 記入者名 | |
|-----|--|------|--|

読書活動について

1 朝の読書を実施していますか

実施している ・ 実施していない(理由)

回数(年・月・週 回)
 時間帯(時 分 ~ 時 分)
 対象(年生 ~ 年生)
 内容()
 成果()

2 読み聞かせを実施していますか

実施している ・ 実施していない(理由)

回数(年・月・週 回)
 実施者(保護者のボランティア ・ 図書館アドバイザー ・
 地域のボランティア(団体名:) ・
 教師・その他())
 時間帯(時 分 ~ 時 分)
 対象(年生 ~ 年生)
 内容()
 成果()

3 読書関係の取組を実施していますか(保護者向け・子ども向け)

実施している場合は内容を記入してください。

4 図書館からの団体貸出の本以外に学級に本がありますか

ある(種類:) ・ ない

学校図書館の活用等について

1 学校図書館をいつ利用していますか 複数回答可

教科の時間(国語・理科等)

総合的な学習の時間

その他()

- 2 学校図書の選書は誰がしていますか 複数回答可
教師 図書館アドバイザー その他()

- 3 学校図書館の活用や選書などについて、ご意見ご要望があれば記入してください

- 4 学校図書館の運営上、困っていること等があれば記入してください。

学校図書館システムについて

- 1 システムは使いやすいですか
使いやすい ・ 使いにくい(理由:)

- 2 主に利用している業務は何ですか 複数回答可
返却・貸出業務 資料管理 帳票印刷 運用設定 蔵書点検
年度処理 その他()

- 3 貸出数・除籍数・所蔵数など、必要とする統計指標があれば記入してください。

- 4 その他学校図書館システムについて、ご意見・ご要望があれば記入してください

図書館事業について

- 1 団体貸出の実施時期は適切ですか
適切ではない(理由:) ・ 適切である
↳ 適切な時期を記入してください(月頃)

2 団体貸出の本は利用されていますか

利用されている ・ 利用されていない(理由:)

| | |
|---|--------|
| } | 朝の読書 |
| | 休み時間 |
| | 放課後 |
| | 調べ学習 |
| | その他() |

3 その他団体貸出について、ご意見・ご要望があれば記入してください。

4 テーマ別の本の貸出しについて、ご意見・ご要望があれば記入してください。

5 図書館で主催している事業(読み聞かせ・講座など)について、ご意見・ご要望があれば記入してください。

その他、和光市図書館と学校との連携などご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
和光市図書館

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

第百五十三回臨時国会

第一次小泉内閣

子どもの読書活動の推進に関する法律をここに公布する。

子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。